

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを楽しむようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。
- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

（情報サービスに関すること）

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子どもをはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

（資料管理に関すること）

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

（協力支援に関すること）

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

（施行期日）

- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
（東京都立中央図書館運営方針の廃止）
- 2 「東京都立中央図書館運営方針（47日図発第234号）」は廃止する。
（東京都立多摩図書館運営方針の廃止）
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針（61教社計多第111号）」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成26年度 主要事業

(1) 都立図書館改革の推進

「都立図書館改革フォローアップ3ヵ年プラン 改訂版(平成24年度～26年度)」*の最終年度として、掲げた諸施策を着実に実施する。また、新多摩図書館の実施設計を踏まえ、円滑な移転と移転後のサービスの充実に向け、万全な準備を進めるとともに、都立図書館の一体的運営の観点から新たなサービスの展開と運営体制の改善を図る。

(2) 重点的情報サービスの推進

「ビジネス情報」「法律情報」「健康・医療情報」「都市・東京情報」等の重点的情報サービス分野の資料を一層充実し、レファレンスサービスの充実を図るとともに、資料の展示、講演会、相談会等を組み合わせて付加価値の高い情報提供を行い、都民の健康・仕事・暮らしの総合的な支援を図る。

(3) デジタルコンテンツの充実及び Web 利用環境の整備

「江戸・東京デジタルミュージアム」「都市・東京の記憶」「東京都立図書館デジタルアーカイブ(TOKYO アーカイブ)」の充実を図るとともに、貴重資料の電子化を促進する。また、電子書籍やオンラインデータベース及びインターネット接続環境の充実など Web 利用環境の整備を図る。

(4) 「東京マガジンバンク」サービスの推進

雑誌コレクションを一層充実させ、創刊号コレクションや重点テーマの特色化を進めるとともに、雑誌に関する情報の発信を積極的に行う。また、雑誌に対する都民の関心を高め、利用促進を図るため、雑誌に関連した講演会・企画展示等の事業に取り組む。

(5) 子供読書活動推進及び学校の教育活動支援

子供の読書活動推進事業として、企画展示や講演会等を実施するほか、おはなし会等の事業を通し、乳幼児の発達段階に応じた絵本や読み聞かせの方法について研究する。

また、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を踏まえるとともに、都の子供読書活動推進計画の改訂の動きを注視し、学校及び区市町村が実施する読書活動や学校図書館活動を支援する。

さらに、都立図書館協議会において、協議テーマ「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」の提言の取りまとめを行う。

(6) 協力支援事業の推進

都民がより多様で豊かな図書館サービスを楽しむことができるよう協力貸出の運用や相互貸借の促進について区市町村立図書館と連携・協力を進めるほか、東京都全体での資料の更なる有効活用等についても意見交換を行っていく。また、区市町村立図書館の要望に応じた研修等を実施することにより、職員的能力向上を支援して、東京都全体での図書館サービスのレベルアップを目指す。

(7) 図書館サービス評価の実施

自己評価を実施するとともに、都立図書館協議会から意見を聴取し、次年度以降のサービスに反映させる。

* 『都立図書館改革の具体的方策』(東京都教育委員会 平成18年)の残された課題の解決を図り、サービスの一層の充実を目指して、都立図書館が取り組む事業の概要及び計画を示したもの(東京都立中央図書館 平成22年)。平成24年4月改訂。

3 平成 25 年度 主要事業報告

(1) 都立図書館改革の推進

平成 24 年 3 月に作成した「都立図書館改革フォローアップ 3 カ年プラン(平成 24 年度～26 年度)」の諸事業を着実に実施した。

(2) 重点的情報サービスの推進

中央図書館では、ビジネス情報、法律情報、健康・医療情報及び都市・東京情報を重点的情報サービスとし、図書、雑誌、オンラインデータベースを 1 階に集中的に配置し、効率的にアクセスできる環境を整備している。

また、資料展示と組み合わせた講演会や相談会の開催、オンラインデータベースによる検索セミナー等の実施により、サービスの定着と新たな利用者への PR に努めた。(展示等の実施状況は、p. 20～23 を参照)

新刊書については積極的に資料を収集しているほか、都民の課題解決への支援をさらに充実するため、健康・医療情報コーナー資料に関して外部専門家による蔵書評価を実施した。

ア ビジネス情報サービス

(ア) ビジネス・起業創業相談会の実施 (8 回)

(一社)中小企業診断士協会及び(公財)東京都中小企業振興公社と連携協力し、ビジネス情報コーナーの資料等を使用しながら、中小企業診断士が中小企業の経営及び起業について個別相談に応じる相談会を実施した。

(イ) 就職活動セミナーの実施

(公財)東京しごと財団等との共催で、ビジネス情報コーナーの資料を使用しながら就職活動を進める方法や中小企業の情報収集方法に関し、中小企業診断士が具体的なアドバイスを行うセミナーを 2 回実施した。

「自分にピッタリの企業を探そう！ー図書館の情報資料を使いこなす“コツ”を伝授しますー」

講師：1 回目 金順玉氏<中小企業診断士>、2 回目 小原伯夫氏<中小企業診断士>

(ウ) テーマ別ミニ展示の実施

「フレッシューズのあなたに贈る 20 冊」「美容ビジネス」「いまどきの就活術」「“クルマ”に関するビジネス」等、創業や業界に関連したテーマで資料展示を 7 回行った。

(エ) その他のサービス

- ・ ビジネス情報検索ショートセミナー 「TSR 企業情報」、「Mpac」、「日経テレコン 21」、「eol」等
- ・ ビジネス情報レファレンス研修(都内区市町村立図書館職員対象)(研修実施状況は、p. 24 を参照)

イ 法律情報サービス

(ア) 無料法律相談会の実施 (3 回)

日本司法支援センター東京地方事務所(法テラス東京)や東京司法書士会との共催で、家庭問題・金銭問題・不動産問題・損害賠償・多重債務・労働問題など、民事の法律問題に関して、弁護士や司法書士による法律相談会を実施した。

- ・ 弁護士・司法書士による無料法律相談会
- ・ 司法書士による無料法律相談会

(イ) 法律情報サービス講演会の実施

「相続を賢く円満に」

講師：亀井時子氏<弁護士>

日本司法支援センター東京地方事務所との共催で、相続を問題なく進めるための具体的な事例を弁護士が解説する講演会を実施した。

(ウ) テーマ別ミニ展示の実施

公開講座のテーマに関するものや、「働く人の法律」「江戸のおきて」「交通事故と法律」「あなたの税金のゆくえは？税制改正と節税」等、法律に関連したテーマで資料展示を7回行った。

(エ) その他のサービス

- ・ 法律情報検索ショートセミナー 「Lexis AS ONE」、「法情報総合データベース (D1-Law)」、「官報情報検索」、「判例秘書 DVD」

ウ 健康・医療情報サービス

(ア) 健康・医療情報サービス公開講座の実施

- ・ 第1回講演会「知っていますか？乳がんのことー専門医が語る乳がんの話ー」
講師：黒井克昌氏<東京都立駒込病院副院長>
会場：都立中央図書館 多目的ホール
乳がんの概要、発症の原因等について、専門医による講演会を実施した。
- ・ 第2回講演会「心すこやかに過ごすためにー精神科医からの読書のススメー」
講師：香山リカ氏<精神科医、立教大学現代心理学部教授>
会場：東京都庁 都民ホール
心すこやかに過ごすために、読書がどう役に立つのかについて、専門医による講演会を実施した。

(イ) 健康相談会「まちの保健室」の開催 (3回)

(公益社団法人)東京都看護協会の協力により、血圧測定、体脂肪計測などの検査を行い、検査結果をもとにその場で看護師からアドバイスを受けられる健康相談会を実施した。また、会場でアンチエイジングや食と健康などの健康・医療に関する情報提供を行うミニ展示を行った。

(ウ) 「健康づくりフォーラム」への出展

東京都教育委員会と児童・生徒の健康づくりの関係団体との共催により文化学園大学で開催された「平成 25 年度健康づくりフォーラム」に参加し、講演者の著作のほか、食育、アレルギー等に関する資料展示を行った。

(エ) テーマ別ミニ展示の実施

公開講座のテーマに関するものや、「本当はツライ慢性頭痛」「静かな臓器・肝臓」「世界糖尿病デー」「生活習慣病～規則正しく、健康に～」等、健康に関連したテーマで資料展示を7回行った。

(オ) その他のサービス

- ・ 健康・医療情報検索ショートセミナー 「医中誌 Web」、「JDreamIII」、「CiNii」等
- ・ 健康・医療情報レファレンス研修 (都内区市町村立図書館職員対象) (研修実施状況は、p. 24 を参照)

エ 都市・東京情報サービス

(ア) 公開講座の実施

東京への関心を高め、東京関係資料に親しむ機会を提供するため、公開講座を実施している。平成 25 年度は、東京の建築をテーマとし、近現代の建築物を通して東京の変遷や魅力を探る内容とした。「建築にみる都市・東京」(全2回)

講師：米山勇氏<東京都江戸東京博物館研究員、博士(工学)>

(イ) 東京都公立図書館住宅地図総合目録の更新

ホームページで公開中の「東京都公立図書館住宅地図総合目録」を、区市町村立図書館から情報提供を受けて更新した。平成 26 年 3 月末現在、参加自治体数は 53 で、4,794 種の住宅地図について地域別年代別に所蔵状況を調べることができる。

(ウ) 都市・東京情報コーナーの情報発信

東京都の施策や東京の文化、行事などをテーマとして「クローズアップ都市・東京情報」を毎月ホームページで発信している。平成 25 年度は、「東京の子育て支援」「めざせ!スマートシティ東京」「東京のものづくり」「東京の地盤」等 12 種のテーマを取り上げた。

また、各テーマで取り上げた資料を、1階都市・東京情報コーナーのミニ展示で紹介した。

(3) デジタルコンテンツの充実及び Web 利用環境の整備

デジタル化資料の一元的な管理を進めるための新たなデータベースシステムを構築するとともに、既存のデジタルコンテンツの更新を行った。また、資料の電子化を促進したほか、電子書籍サービスの試行を開始した。

ア 「2020 年の東京」へのアクションプログラム 2013「都市・東京情報の発信拠点化事業」

(ア) 「東京都立図書館デジタルアーカイブ (TOKYO アーカイブ)」の開発・公開

都立図書館の江戸・東京関係のデジタル化資料を一元管理し、検索・閲覧できるデータベースを開発した。平成 25 年 5 月には第一次開発分として「江戸城」「浮世絵」「双六」「和漢書」「絵葉書・写真帖」「近代の地図」「東京府・東京市関係資料」「江戸・東京の災害記録」の 8 カテゴリーの画像を公開し、平成 26 年 2 月には第二次開発分として「江戸図」「番付」「建築図面」「書簡」「その他の貴重資料」の 5 カテゴリーを追加公開した。さらに二次開発では「巻物表示機能」「翻刻表示機能」「地図表示機能」を加え、貴重資料のデジタル画像を新たな切り口で閲覧することが可能になった。平成 26 年 3 月末現在の公開資料件数は、約 26,200 件である。

(イ) 江戸・東京デジタルコンテンツの更新

東京関係資料の中から写真、図版等を紹介する「都市・東京の記憶」(平成 22 年度公開)に、「東京の年中行事」のコンテンツを追加した。

また、江戸・東京の資料を通じて歴史や文化を楽しみながら学ぶ「江戸・東京デジタルミュージアム」(平成 23 年度公開)に、「大江戸マップ」のコンテンツ 20 地点分(画像と解説文)を追加した。

(ウ) 東京関係資料のデジタル化

東京府及び東京市の刊行物を中心に、495 点のデジタル化を行った。

イ 貴重資料のデジタル化

特別文庫室所蔵貴重資料の保存と利用を両立させるため、閲覧や複写等での利用が多い「木子文庫」の建築図面及び冊子資料等 4,527 点のデジタル化を行った。

ウ 電子書籍の導入

タブレット端末による電子書籍サービスについて、平成 25 年 12 月 18 日から中央図書館で試行を開始した。241 タイトルのコンテンツを提供している。

エ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスへの参加

国立国会図書館が平成 26 年 1 月から開始した「図書館向けデジタル化資料送信サービス」に参加した。このことにより、これまで国立国会図書館内でしか利用できなかったデジタル化資料が、都立図書館内において利用できるようになった。

(4) 「東京マガジンバンク」サービスの推進

多摩図書館では、週刊誌から学術雑誌まで約 17,000 誌の雑誌を幅広く所蔵し、公立図書館としては全国初の雑誌による専門的情報サービスを実施している。

また、豊富なコレクションを紹介する企画展示のほか、雑誌に関わりのある講師・演題による講演会や映画上映と映画関係雑誌の展示を組み合わせた催しなどを実施し、「東京マガジンバンク」の知名度向上やバックナンバーをはじめとする資料の利用促進を図るとともに、新たな利用機会の創出につなげた。

(展示会等の実施状況は、p. 22～23 を参照)

ア 資料の利用促進のための取組

(ア) 企画展示の実施

日頃の閲覧機会が少ない書庫内の雑誌を中心に豊富なコレクションを紹介する企画展示を、「スポーツ」、「創刊号」、「女優」及び「男性誌」をテーマとして 4 回実施した。

(イ) 講演会の開催

- ・ 講演会「元気の出る雑誌の話」
講師：仲俣暁生氏〈編集者・文筆家〉
- ・ 講演会「今日もていねいに～編集長が語る『暮しの手帖』の今～」
講師：松浦弥太郎氏〈暮しの手帖編集長、エッセイスト〉

(ウ) バックヤードツアー等の開催

一般コース（4回）を実施し雑誌を紹介したほか、雑誌に特化した内容の「マガジンコース」を2回実施し、参加者に「創刊号コレクション」やバックナンバーの豊富さを詳細に説明した。

イ 雑誌コレクションの充実

(ア) 「ニュータイトル」の広報

新たに収集を開始した雑誌及び休廃刊等により収集を中止した雑誌の情報を、利用者に印刷リストやホームページ、ツイッターで広報した。

(イ) 欠号補充の実施

平成 22 年度から所蔵タイトルの欠号補充の取組を行っており、重点収集テーマである「女性誌」及び「鉄道関係雑誌」の欠号を古書店などから積極的に購入しているほか、寄贈に御協力いただいている。平成 25 年度は「an・an」「家庭画報」「婦人公論」など 13 誌 247 冊の欠号が補充された。

(ウ) ニュータイトルの充実

新創刊雑誌のほか、既刊の雑誌で未所蔵のタイトルについてもバックナンバーを含めて積極的に収集を行った結果、所蔵タイトル数が購入・寄贈合わせ 1 年間で 198 タイトル増加した。

ウ 雑誌に関する情報の発信

利用者が多種多様な雑誌の中から利用目的に合った雑誌を選ぶ際の手助けになるように、「テーマ別所蔵雑誌紹介パンフレット」を作成している。平成 25 年度は「地方史」「法律」「スポーツ」の 3 テーマ 4 種を新たに作成し、合計 11 種のパンフレットを閲覧室内において配布した。

エ 「東京マガジンバンク」の広報

第 25 期東京都立図書館協議会の提言では、「東京マガジンバンクの特に注力すべきターゲット」として、社会学、広告、マーケティング等を専攻する大学生があげられている。平成 25 年度は「東京マガジンバンク」を広報し、利用促進を図る目的で、6 か所の大学を訪問した。一部の大学は、「東京マガジンバンク」を授業に利用したり、多摩図書館からは講演会の講師を依頼するなど相互に連携が取れるようになった。

(5) 子供読書活動推進及び学校の教育活動支援

多摩図書館では東京都子供読書活動推進資料等を活用し、事業の充実を図った。中央図書館においても東京都教育委員会の教育活動事業への支援を行った。

ア 子供読書活動推進（多摩図書館）

児童及び青少年の読書活動を推進するため、対象者別に事業を実施した。

(ア) 保護者及び子供対象

- ・ 「小さいひとのおはなし会『ウリボウのへや』」の開催
- ・ 東京都子供読書活動推進資料「子どもたちに物語の読み聞かせを」の配布（都内の小学 1 年生の保護者）
- ・ 東京都子供読書活動推進資料「扉をあけてⅡ」の作成・配布（都内の中学 1 年生）
- ・ 東京都子供読書活動推進資料「羅針盤Ⅱ」の配布（都内の高校 1 年生）

(イ) 区市町村立図書館職員対象

- ・ 「子供の読書に関する講座」（児童図書館専門研修Ⅰ）児童サービス新任職員対象
- ・ 「子供の読書に関する講座」（児童図書館専門研修Ⅱ、Ⅲ）経験者対象
- ・ 児童・青少年サービス担当者会

また、読書への関心を高めるための次の事業を実施した。

- ・ 企画展示「本の海を航海しよう」及び「読み聞かせ絵本講座」
- ・ 企画展示「これならできる！自由研究～111 枚のアイディアカードから選ぼう」及び「小学生自由研究講座 図書館のひみつ探検隊」

イ 学校の教育活動支援（多摩図書館）

児童・生徒及び教職員の読書活動を支援するための事業を行った。（実施状況については、p. 25～26 を参照）

(ア) 教職員に対する読書活動支援

- ・ 東京都教職員研修センターが実施する研修等への講師派遣
- ・ ブックトーク講座の実施

(イ) 児童・生徒への読書活動支援

- ・ 小学校での自由研究講座等の実施
- ・ 「扉をあけて」を活用した中学校でのブックトークの実施
- ・ 「羅針盤Ⅱ」を活用した高等学校でのブックトーク、読み聞かせ講座等の実施

(ウ) 特別支援学校への支援

- ・ 「特別支援学校での読み聞かせ」の特別支援学校等への配布と読み聞かせ講座の実施
- ・ 特別支援学校への出張おはなし会や選書支援等の実施
- ・ 多摩地区都立学校教育フェア「西風」へのブース参加
西部学校経営支援センターが主催し多摩教育センターで開催された多摩地区都立学校教育フェア「西風」に参加し、「マルチメディア DAISY 体験」及び「布絵本展示」を行った。

ウ その他

(ア) 東京未来塾（注1）への支援事業（中央図書館）

東京未来塾生が効果的な資料の活用法及び情報収集の方法を習得し、その後のゼミナール等における調査・研修のスキルアップを図ることを目的に、図書館活用講座、館内見学、レファレンスサービス等を実施した。

（注1）東京未来塾

日本の将来を担い得る改革型リーダーとしての資質を持つ人材を育成することを目的として、都内高校3年生を選抜し、1年間を通じて課題解決学習、ゼミナール、体験学習など様々な学習を行う東京都教育委員会の教育活動事業（平成25年度をもって事業は終了）

(イ) 次世代リーダー育成道場（注2）への支援事業（中央図書館）

次世代リーダー育成道場研修生に対する事前研修として、教科書『江戸から東京へ』掲載の当館所蔵資料の複製パネルによる講義、貴重資料の見学等を実施した。

（注2）次世代リーダー育成道場

将来、様々な分野で活躍し、日本や東京の未来を担う次世代のリーダーを育成することを目的として、都立高校生を対象に語学力等を身に付けるための国内での事前研修と、1か月程度の海外短期研修、1年間の長期留学などを実施する東京都教育委員会の教育活動事業

(6) 協力支援事業の推進

東京都公立図書館長連絡会全体会を7月、1月に開催し、特に1月については館長研修会「講演会：官・民の連携・協働による図書館サービスの展望」（講師：青山学院大学教育人間科学部准教授 野末俊比古氏）を実施したほか、区市町村立図書館との連携・協力に関する事項について、同幹事会を7月、12月に開催し、意見交換を行った。

また、東京都図書館研究交流会（第1回「講演会：図書館とビブリオバトルの可能性～ビブリオバトルの活用法～」稲川綾乃氏、第2回新館見学会（練馬区立南大泉図書館・分室、墨田区立ひきふね図書館、目黒区立大橋図書館、三鷹市立南部図書館全4コース）、第3回「講演会：図書館におけるウェブ活用と今後の展開」安形輝氏）を開催した。

この他、東京都全体での資料の有効活用を図り、都民の資料要求に応えるため、協力車による協力貸出、相互貸借資料の搬送、区市町村立図書館職員へのレファレンス研修等を実施した。

(7) 図書館サービス評価の実施

平成24年度の図書館サービスの自己評価を実施するとともに、外部評価として都立図書館協議会の意見聴取を実施し、結果をホームページで公開した。

(8) 大規模企画展等の実施

ア 東京都立中央図書館特別文庫所蔵貴重資料企画展「江戸の粋！歌舞伎」の実施

特別文庫室で所蔵する貴重資料と都立図書館の存在を広く都民に PR することを目的として、大規模企画展を行った。江戸時代の最高の娯楽であるとともに江戸文化の源泉であった「歌舞伎」をテーマに、当館所蔵の錦絵や浄瑠璃本、番付、地図など幅広い資料を通じて「江戸歌舞伎」の魅力を紹介した。(6月14日～16日 新宿駅西口広場イベントコーナー 来場者 10,211名)

イ 文化財ウィーク展「最後の江戸城ー建築図面から見る幕末の姿」の実施(東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク 2013」参加事業)

「江戸城造営関係資料(甲良家伝来)」の中から、幕末の万延年間の建築図面を中心に約30点の重要文化財を展示し、焼失と再建を繰り返した江戸城の歴史を紹介した。関連資料として、幕末の徳川家(田安家)の側用人であった蜂屋茂橘^{はちやもきつ}の随筆「椎の実筆」などを、江戸研究の重要な資料として紹介した。また、江戸城本丸表・中奥の大型図面(複製、11畳相当の大きさ。)を設置して、来場者がその上を歩くことができるようにし、江戸城内を体感できるように構成した。(10月26日～11月10日 企画展示室、多目的ホール 来場者 企画展示室4,206名、多目的ホール1,438名)

(9) 資料の防災に関する取組の実施

暴風雨や大規模地震等の災害により、所蔵資料に被害が生じた場合の対応策をまとめた「東京都立図書館資料防災マニュアル」を改訂した。中央図書館では、10月の自衛消防訓練の際に「資料防災マニュアル」を活用した研修を行い、職員への周知を図った。

漏水により被災した際に迅速に対応できるよう、必要な資材をまとめた「被災資料救済セット」を増配備したほか、「汚水吸引掃除機」を購入し、漏水・浸水に備えた。

(10) 陸前高田市立図書館被災資料の修復

東京都の東日本大震災被災地支援事業の一環として、岩手県陸前高田市立図書館所蔵の郷土資料51点について、全面的な修復を行っている。(平成26年度末までの予定)

4 予 算 平成 26 年度

(千円)

項 目	予 算 額			内 容
	26年度	25年度	増△減	
管理運営等	203,603 (12,497)	198,627 (12,521)	4,976 (△24)	中央・多摩図書館の管理運営 中央図書館の建物維持管理に要する経費
サービス事業	441,093 (30,994)	433,573 (28,012)	7,520 (2,982)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業、オンラインデータベース導入等のサービス充実等に要する経費
資料収集・整理	481,669 (61,043)	452,360 (29,918)	29,309 (31,125)	図書館資料の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 [26年度購入計画] 1 図 書 ・一般成人用図書 29,300 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,316 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,500 冊 同上 (青少年) 2,450 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 合計 42,676 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,456 種 ・年鑑・年報 1,933 種
タイムリーな企画展	20,159	30,192	△ 10,033	・大規模企画展 年1回 ・図書館内展示会 年5回 ・講演会等 年2回 ・常設企画展
電算システムの運営	105,971	106,138	△ 167	都立図書館2館における電算システムの運営管理及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	2,308 (1,693)	1,585 (1,136)	723 (557)	委員数 12名 定例会 年5回
計	1,254,803 (106,227)	1,222,475 (71,587)	32,328 (34,640)	

(注) ・予算額中の()は、給与関係費で内数
 ・多摩図書館は複合施設のため、施設管理費は含まれていない。

5 決 算 平 成 25 年 度

(円)

項 目	決 算 規 模	予 算 額	決 算 額
I 管理運営等		198,627,000 (12,521,000)	174,095,559 (4,441,640)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21㎡		
2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館			
II サービス事業		433,573,000 (28,012,000)	377,500,393 (17,416,114)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 326日 入館者数 313,717人		
2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 331日 入館者数 90,370人		
III 資料収集・整理		452,360,000 (29,918,000)	423,264,119 (17,230,097)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館	1 図 書 (1) 新刊和書 26,561冊 (2) 既刊書1,219冊 (3) 洋書 3,460冊 (4) 中国語、韓国・朝鮮語図書 2,259冊 (5) 電子資料 38枚 (6) 児童書(和書) 3,779冊 (7) 青少年図書(和書) 3,071冊 2 逐次刊行物 (1) 新 聞 162種 (2) 雑 誌 4,062種 (3) 年鑑・年報(和書)1,583冊 (4) 年鑑・年報(洋書)275冊		
2 図書資料の整理			
3 修理保全			
4 蔵書目録			
V タイムリーな企画展		30,192,000	27,487,032
IV 電算システムの運営		106,138,000	105,357,983
VI 図書館協議会		1,585,000 (1,136,000)	826,360 (597,600)
計		1,222,475,000 (71,587,000)	1,108,531,446 (39,685,451)

- (注) ・予算額・決算額中の()は、給与関係費で内数
 ・予算額は当初予算額。決算額は図書館での執行分のみ。
 ・多摩図書館は複合施設のため、施設管理費は含まれていない。

6 利用統計資料

(1) 所蔵状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

ア 図書 (年鑑・年報含む)

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日本語資料	一 般 書	1,186,104	298,977	1,485,081
	総 記	52,539	9,736	62,275
	哲 学	67,444	8,482	75,926
	歴 史	157,001	15,720	172,721
	社 会 科 学	329,372	65,088	394,460
	自 然 科 学	114,038	13,160	127,198
	工 学	130,520	16,714	147,234
	産 業	91,196	8,319	99,515
	芸 術	113,592	22,092	135,684
	語 学	24,951	5,146	30,097
	文 学	105,451	134,520	239,971
	東 京 資 料	214,755	7,681	222,436
	児 童 資 料		158,251	158,251
青 少 年 図 書		24,928	24,928	
海外資料	洋書(特別文庫除く)	146,348	32,976	179,324
	一 般 書	145,023	14,567	159,590
	東 京 資 料	1,325	19	1,344
	児 童 資 料		18,389	18,389
	青 少 年 図 書		1	1
	中 国 語 図 書	63,722	3,794	67,516
	一 般 書	63,497	140	63,637
	東 京 資 料	225	0	225
	児 童 資 料		3,654	3,654
	青 少 年 図 書		0	0
	韓 国・朝 鮮 語 図 書	19,351	1,870	21,221
	一 般 書	19,136	50	19,186
	東 京 資 料	215	0	215
児 童 資 料		1,820	1,820	
青 少 年 図 書		0	0	
特 別 文 庫	243,270	0	243,270	
山 本 有 三 文 庫		13,559	13,559	
地 図	7,817	11,433	19,250	
計	1,881,367	553,469	2,434,836	

(注) 特別文庫資料は平成 25 年度末統計より、原資料のみの所蔵数とする。

イ 新聞雑誌所蔵状況

区 分		中央図書館				多摩図書館				合計	
		新聞雑誌	東京資料	特別文庫*	小計	新聞雑誌	児童青少年資料	東京資料	小計		
新 聞	日本語	継続	192	230	0	422	49	6	31	86	508
		終刊・中断	225	367	45	637	85	18	0	103	740
		小計	417	597	45	1,059	134	24	31	189	1,248
	外国語	継続	29	7	0	36	2	0	0	2	38
		終刊・中断	46	14	0	60	2	1	0	3	63
		小計	75	21	0	96	4	1	0	5	101
計		492	618	45	1,155	138	25	31	194	1,349	
雑 誌	日本語	継続	1,747	533	0	2,280	5,260	181	0	5,441	7,721
		終刊・中断	2,115	1,486	255	3,856	10,020	660	21	10,701	14,557
		小計	3,862	2,019	255	6,136	15,280	841	21	16,142	22,278
	外国語	継続	120	1	0	121	405	18	0	423	544
		終刊・中断	122	10	329	461	999	60	0	1,059	1,520
		小計	242	11	329	582	1,404	78	0	1,482	2,064
計		4,104	2,030	584	6,718	16,684	919	21	17,624	24,342	
マイクロフィルム		16 (15,079)	12 (1,519)	—	28 (16,598)	48	0	0	48 (0)	—	

(注1)特別文庫の所蔵数は、P.12(1)アの特別文庫 243,270 冊の内数

(注2)マイクロフィルムの下段()は、リール数

(注3)この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

ウ 音声・映像資料

区 分	映画フィルム		ビデオ テープ (巻)	LD・ DVD (枚)	スライド フィルム (組)	レコード・CD	録音 テープ (巻)	航空写真 ネガフィルム (本)
	16 mm (巻)	8 mm (巻)				()はCDで内数 (枚)		
中央図書館	1,914	135	6,223	1,818	264	5,645 (1,597)	1,138	113
多摩図書館	9,416	—	—	—	—	—	—	—

エ 視覚障害者用資料

区 分	録音図書		点字図書	点字雑誌・新聞	録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デージー			録音テープ	デージー
中央図書館	3,586点 26,645巻	2,263点 2,282枚	616点 3,209冊	8種 3,632冊	11種 555点	9種 372点
多摩図書館	3,175点 17,106巻	898点 898枚	400点 1,652冊	10種 372冊	19種 4,388点	7種 306点

オ 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区 分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	カラーポジフィルム	DVD-R (CD-R含む)
	36,288点	9,150巻	6,444枚	21,802枚	1,340枚

(2) オンラインデータベースの設置状況(平成26年3月31日現在)

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について利用できるオンラインデータベースを中央・多摩の両館で設置している。

区 分	オンラインデータベース 設置数
無料	32種類
有料	1種類

(3) 利用状況

ア 入館者数

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日	月別入館者数	1日平均	開館日	月別入館者数	1日平均	
平成 25 年 4 月	28	25,345	905	28	7,067	252	32,412
5 月	29	30,422	1,049	29	8,069	278	38,491
6 月	19	19,146	1,008	28	8,690	310	27,836
7 月	29	30,394	1,048	30	9,421	314	39,815
8 月	29	30,999	1,069	29	9,823	339	40,822
9 月	28	27,932	998	29	7,820	270	35,752
10 月	29	26,751	922	29	7,234	249	33,985
11 月	28	26,695	953	20	5,172	259	31,867
12 月	26	23,892	919	26	6,171	237	30,063
平成 26 年 1 月	26	25,683	988	27	7,847	291	33,530
2 月	26	22,883	880	26	6,115	235	28,998
3 月	29	23,575	813	30	6,941	231	30,516
計	326	313,717	962	331	90,370	273	404,087

イ 複写枚数

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館日	月別複写枚数	1日平均	開館日	月別複写枚数	1日平均	
平成 25 年 4 月	28	123,567	4,413	28	12,970	463	136,537
5 月	29	139,832	4,822	29	15,888	548	155,720
6 月	19	97,589	5,136	28	11,142	398	108,731
7 月	29	147,941	5,101	30	12,985	433	160,926
8 月	29	150,021	5,173	29	14,540	501	164,561
9 月	28	127,559	4,556	29	14,107	486	141,666
10 月	29	121,913	4,204	29	12,912	445	134,825
11 月	28	135,967	4,856	20	9,783	489	145,750
12 月	26	136,936	5,267	26	12,076	464	149,012
平成 26 年 1 月	26	132,193	5,084	27	14,021	519	146,214
2 月	26	110,203	4,239	26	10,885	419	121,088
3 月	29	120,219	4,145	30	13,656	455	133,875
計	326	1,543,940	4,736	331	154,965	468	1,698,905

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、総合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

区 分	蔵書検索数	総合検索利用件数
平成 25 年 4 月	389,836	238,991
5 月	425,774	259,604
6 月	395,568	243,445
7 月	436,198	256,928
8 月	429,467	248,596
9 月	394,143	232,296
10 月	410,468	252,268
11 月	414,456	237,483
12 月	379,070	223,830
平成 26 年 1 月	415,204	237,650
2 月	374,525	216,617
3 月	406,658	234,096
計	4,871,367	2,881,804

(4) 登録利用者数

利用者登録により、ネット予約（資料の取り置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。

区 分	各月末現在の登録利用者数	区 分	各月末現在の登録利用者数
平成 25 年 4 月	3,588	平成 25 年 10 月	4,630
5 月	3,783	11 月	4,779
6 月	3,941	12 月	4,934
7 月	4,136	平成 26 年 1 月	5,126
8 月	4,321	2 月	5,279
9 月	4,458	3 月	5,404

(5) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考としてもらえる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

(掲載質問例)

- ・1960年代～90年代当時の日本の主要政党の支持率について、推移がわかる資料はないか。
- ・明治元年から明治37年までの東京府の人口が知りたい。
- ・「雄弁は銀、沈黙は金」の出典について知りたい。
- ・夏休みの自由研究で、災害時の救護活動に役立つロボット、人間の代わりに危険な作業をしてくれるロボットについて調べたい。子供にもわかる資料で紹介してほしい。(小学校4年生)

回答は当館ホームページを参照のこと。

ア 質問形態内訳

[都立図書館計]

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1 日平均	総 数	1 日平均	
口 頭	43,438	133	8,253	25	51,691
電 話	22,019	68	2,825	9	24,844
ファクシミリ	193	1	3	0	196
文 書	1,451	4	473	1	1,924
Eメール	2,548	8	375	1	2,923
計	69,649	214	11,929	36	81,578

(注) 1日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の一日平均の合計とは一致しない。

[中央図書館]

区 分	情報サービス課 4	音声・映像 資料室	特別文庫室	視覚障害者 サービス係	計	開館日数	1 日平均
口 頭	41,086	36	1,897	419	43,438	326	133
電 話	18,050	0	2,516	1,453	22,019	326	68
ファクシミリ	46	0	15	132	193	326	1
文 書	809	0	313	329	1,451	326	4
Eメール	2,215	0	108	225	2,548	326	8
計	62,206	36	4,849	2,558	69,649	326	214

(注1) 1日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の一日平均の合計とは一致しない。

(注2) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な対応が14,019件ある。

[多摩図書館]

区 分	情 報 サービス係	児童青少年 資料係	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1 日平均
口 頭	7,269	908	76	8,253	331	25
電 話	2,439	289	97	2,825	331	9
ファクシミリ	2	1	—	3	331	0
文 書	472	1	—	473	331	1
Eメール	253	71	51	375	331	1
計	10,435	1,270	224	11,929	331	36

(注) 1日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の一日平均の合計とは一致しない。

イ 協レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都内公立図書館	区立図書館	13	113	126
	多摩地区市町村図書館	17	300	317
	島しょ図書館	0	17	17
	小 計	30	430	460
そ の 他		34	0	34
計		64	430	494

(注) その他は、他道府県図書館及び大学図書館

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(6) 書庫内図書利用冊数

中央図書館
280,249
860

(注) 下段は1日平均

多 摩 図 書 館				
図 書	雑 誌	児童図書	児童雑誌	計
17,760	138,094	(4,701)	(12,749)	155,854
54	417	(14)	(39)	471

(注) 下段は1日平均、児童図書、児童雑誌は内数

(7) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

中 央 図 書 館					多摩図書館
情報サービス課4係	音声・映像資料室	特別文庫室	視覚障害者サービス室	計	
4,158	0	223	115	4,496	361

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が11,462件ある。

(8) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

区 分	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	2,125	124	2,249
都庁内貸出冊数	760	23	783
複 写 枚 数	6,102	611	6,713

(9) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む）及び資料貸出である。

ア 資料提供

開室 日数	閲覧者数 (名)		閲覧数 (冊)		複写関係						資料貸出		合計 資料冊数	
	人数	1日平均	冊数	1日平均	撮影		即日複写		ネガ貸		件数	冊数	冊数	1日平均
					件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数				
326	1,490	5	14,958	46	132	411	307	1,652	600	1,635	20	135	18,791	58

イ 復刻・翻刻

件	冊
14	37

(10) 音声・映像資料室利用状況

中央図書館音声・映像資料室では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、室内で視聴できる。

開室日数	利用者数	利用点数
326	2,329	4,043

(11) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、録音資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区 分	登録者		対面音訳			録音資料						点訳資料			
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	録音テープ		デイジー		受付数	作成数 (冊)	貸出数		
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)			点字 (冊)	FD (枚)	
中央図書館	286	79	426	685	1,782	13	0	768 (1,561)	168 (168)	5,221 (5,280)	5	4 (18)	76 (114)	86 (86)	
多摩図書館	107	20	190	301	854	8	0 (0)	55 (378)	114 (114)	1,482 (1,482)	1	1 (3)	4 (25)	0 (0)	

(注1) デイジーとは、Digital Accessible Information System（デジタル録音図書）の略。

(注2) 貸出数の中には、借受け貸出し分も含む。

(注3) 作成数の中には雑誌・新聞（テープ、デイジー及び点訳）は含まない。

(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻（冊）数を表す。

(12) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸し出している。

区 分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合 計
区 立 図 書 館	11,599	2,180	13,779
多摩地区市町村図書館	64,113	5,790	69,903
島 しょ 図 書 館	957	1	958
計	76,669	7,971	84,640

イ 都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区分	都外貸出		都外借受	
	件 数	冊 数	件 数	冊 数
中央図書館	81	95	11	14
多摩図書館	26	39	13	19
計	107	134	24	33

(13) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出ししている。

区 分		登 録 受付数	貸 出		備 考
			件 数	点 数	
16 ミリ 映画 フィルム	団 体	98	369	848 本	
	特 別 団 体	23			
	映 写 機 貸 出	—	—	118 台	
島 しょ 長 期 貸 出	大 島	—	12	120 本	
	三 宅		0	0 本	
	八 丈		0	0 本	
	小 笠 原		12	60 本	
	計		—	24	

(14) ホームページ利用状況

区 分	トップページ アクセス数
平成 25 年 4 月	108,448
5 月	118,877
6 月	105,591
7 月	112,823
8 月	107,826
9 月	92,280
10 月	97,179
11 月	90,736
12 月	87,591
平成 26 年 1 月	98,781
2 月	85,498
3 月	86,312
計	1,191,942

7 図書館資料収集・整理統計

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料

(冊)

区 分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購 入	42,245 (5,994)
受 贈	9,240 (385)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	45 (5)
計	51,530 (6,384)

(注) 年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	18,220
-------------------	--------

(2) 逐次刊行物受入状況

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,858 冊 (275)	127 種 (18)	35 種 (1)	1,038 種 (110)	3,024 種 (343)
受 贈	3,664 (39)	272 (10)	48 (1)	1,425 (20)	2,898 (79)
計	5,522 (314)	399 (28)	83 (2)	2,463 (130)	5,922 (422)

(注) ()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	41,275	6,133	5,537	52,945

(4) 製本状況

(冊)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
2,587	1,874	0	4,461

8 展示等の事業実績（平成25年度）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をもっとPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会及び映画会等を実施した。

(1) 展示

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
◆東京文化財ウィーク2013 「最後の江戸城 - 建築図面から見る幕末の姿 -」		10月26日～11月10日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	5,644 名
◆特別文庫室所蔵貴重資料企画展 「江戸の粋！歌舞伎 - 歌舞伎が彩る江戸っ子の暮らし -」		6月14日～6月16日	新宿駅西口広場	10,211 名
中央図書館 企画展示	「驚きの発見～図書館で見つけたこれも本なの～」	3月2日～4月14日	中央図書館 企画展示室 (閲覧室とは異なる展示専用の独立した展示室で実施)	4,842 名
	「ビブリオバトルを応援します！～あなたのチャンプ本を見つけよう～」	4月27日～6月2日		1,023 名
	「江戸から伊勢へ 絵図でたどる東海道と伊勢路」	6月22日～8月18日		8,232 名
	「東京都の軌跡 - 都制施行70周年 -」	8月29日～10月14日		6,526 名
	「図書館資料が語るテレビ60年 - テレビが伝えてきたもの -」	11月20日～1月13日		5,928 名
	「和本の歴史 - 絵巻物を中心とした和本の世界 -」	1月23日～3月9日		5,842 名
人文科学系ミニ展示	「草木染」	4月5日～5月1日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「日本の名産」	5月3日～6月3日		
	「日本の滝」	6月14日～7月31日		
	「田中正造」	8月2日～9月4日		
	「宮澤賢治」	9月6日～10月2日		
	「オペラと劇場」	10月4日～11月6日		
	「小袖の名品」	11月8日～12月4日		
	「冬の挨拶状」	12月6日～1月8日		
	「干支午」	1月10日～2月5日		
	「オリンピックと日本のアスリート」	2月7日～3月5日		
	「太宰治」	3月7日～4月2日		
美術情報棚展示	「ラファエロ」	4月5日～5月1日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「漆」	5月3日～6月3日		
	「川合玉堂」	6月14日～7月31日		
	「紙の展覧会二つ」	8月2日～9月4日		
	「クローズアップ工芸」	9月6日～10月2日		
	「ウィリアム・モリス」	10月4日～11月6日		
	「ターナー」	11月8日～12月4日		
	「下村観山」	12月6日～1月8日		
	「和歌と日本美術」	1月10日～2月5日		
	「板谷波山」	2月7日～3月5日		
	「展覧会カタログ2013」	3月7日～4月2日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
都市・東京情報コーナーミニ展示	「東京の公園を知る」	3月15日～4月14日	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	
	「高い技術で国際貢献 東京都の水道事業の“いま”」	4月15日～6月3日		
	「東京の子育て支援」	6月14日～7月3日		
	「2013年多摩地域に注目」	7月5日～7月31日		
	「めざせ！スマートシティ東京」	8月2日～9月4日		
	「東京における高齢者支援」	9月6日～10月2日		
	「東京都の消費者教育」	10月4日～11月6日		
	「東京のものづくり」	11月8日～12月4日		
	「商店街の魅力に出会う」	12月6日～1月8日		
	「東京のボランティア活動」	1月10日～2月5日		
	「東京の地盤」	2月7日～3月5日		
	「伊豆大島」	3月7日～4月2日		
ビジネス情報ミニ展示	「シニアビジネス」	3月8日～5月1日	中央図書館 ビジネス情報コーナー*	
	「フレッシュャーズのあなたに贈る20冊」	5月3日～7月3日		
	「美容ビジネス」	7月5日～9月4日		
	「いまどきの就活術」	9月6日～11月6日		
	「“クルマ”に関するビジネス」	11月8日～1月8日		
	「農業に関するビジネスあれこれ」	1月10日～3月5日		
	「これからの成長産業 医療&介護ビジネス」	3月7日～5月7日		
法律情報ミニ展示	「シニアのための法律」	3月8日～5月1日	中央図書館 法律情報コーナー*	
	「働く人の法律」	5月3日～7月3日		
	「江戸のおきて」	7月5日～9月4日		
	「相続を賢く円満に」	9月6日～11月6日		
	「交通事故と法律」	11月8日～1月8日		
	「あなたの税金のゆくえは？ 税制改正と節税」	1月10日～3月5日		
	「新しい生活をサポートする法律知識」	3月7日～5月7日		
健康・医療情報ミニ展示	「シニアの健康」	3月8日～5月1日	中央図書館 健康・医療情報コーナー*	
	「本当はツライ慢性頭痛」	5月3日～7月3日		
	「静かな臓器・肝臓」	7月5日～9月4日		
	「知っていますか？乳がんのこと」	9月6日～11月6日		
	「世界糖尿病デー」	11月8日～1月8日		
	「心の健康」	1月10日～3月5日		
	「生活習慣病～規則正しく、健康に～」	3月7日～5月7日		
健康・医療情報トピック	「乳がん」	6月14日～8月31日	中央図書館 健康・医療情報コーナー*	
	「睨がん」	9月1日～10月31日		
	「ジェネリック医薬品」	11月1日～1月22日		
	「ノロウイルス」	1月23日～2月14日		
	「女性の健康週間」	2月15日～3月15日		
	「がんポータルサイト」	3月16日～		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
新聞・雑誌ミニ展示	モダン革命 明治・大正期の雑誌『アサヒグラフ』	8月2日～9月4日	中央図書館 新聞閲覧コーナー*	
	モダン革命 明治・大正期の雑誌『白樺』	9月6日～10月2日		
	モダン革命 明治・大正期の雑誌『太陽(博文館)』	10月4日～11月6日		
	日本の美―雑誌『国華』	11月8日～12月4日		
	郷愁に誘われて―雑誌『旅』	12月6日～1月8日		
	言祝ぎ―雑誌『演藝画報』	1月10日～2月5日		
	もっと楽しもう 冬季オリンピック	2月7日～3月5日		
	レンズが語る―『ナショナル・ジオグラフィック』	3月7日～4月2日		
トピック展示	「鉄の女サッチャー」	4月11日～5月1日	中央図書館 中央ホール*	
	「富士山、世界文化遺産へ」	5月11日～5月31日		
	「富士山、世界文化遺産に決定」	6月24日～7月31日		
	「夢が現実に 2020年オリンピック・パラリンピックが東京に」	9月8日～10月31日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室* 中央図書館 中央ホール*	
	「やなせたかしさん追悼」	10月17日～10月31日		
	「舛添知事の著作」	2月28日～4月2日		
東京マガジンバンク 企画展示	「東北を旅しよう～雑誌で誘う東北の旅」	3月8日～5月1日	多摩図書館 展示エリア (閲覧室と同一フロアでスペースを区切って実施)	10,009 名
	「スポーツの力～雑誌で伝える熱き感動～」	8月10日～11月4日		8,379 名
	「ザ・創刊号コレクション～雑誌の歴史をたどる～」	11月15日～1月8日		6,202 名
	「雑誌にみる銀幕のスターたち～邦画女優編～」	1月10日～3月5日		6,543 名
	「今！男性誌がおもしろい～ファッション誌・ライフスタイル誌の魅力～」	3月7日～4月30日		6,666 名
児童青少年 企画展示	「本の海を航海しよう」	5月3日～7月3日		12,417 名
	「これならできる！自由研究 111枚のアイデアカードから選ぼう」	7月5日～9月4日		16,054 名
児童サービ スミニ展 示	「えほんかるた」		多摩図書館児童エリア*	
	「ほん・本・ごほん」			
	「ほん・本・ごほん 100回記念」			
青少年サー ビスミニ 展示	「羅針盤Ⅱ」		多摩図書館青少年エリア*	
	「扉をあけてⅡ」			
	「学習応援棚」			

*の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者の計測を行っていない。

(2) 講演会等

区 分	講 演 会 名 等	日 程	会 場	参加者数
ビジネス情報 サービス講演会	「自分にピッタリの企業を探そう！―図書館の情報資料を使いこなす“コツ”を伝授します―」金順玉氏<中小企業診断士>、小原伯夫氏<中小企業診断士>	8月24日 1月18日	中央図書館	164 名
ビジネス情報 サービス相談会	「ビジネス 起業・創業相談会」	6月～2月 (全8回)		65 名
法律情報 サービス講演会	「相続を賢く円満に」	9月26日		91 名
法律情報 サービス相談会	「弁護士・司法書士による無料法律相談会」	4月25日		33 名
	「司法書士による無料法律相談会」	12月7日 2月8日		27 名

区 分	講 演 会 名 等	日 程	会 場	来場者数	
健康・医療情報サービス講演会	「知っていますか？乳がんのことー専門医が語る乳がんの話ー」	10月6日	中央図書館	53名	
	「心すこやかに過ごすためにー精神科医からの読書のススメー」	1月11日	都庁 都民ホール	226名	
健康・医療情報サービス相談会	健康相談会「まちの保健室」	7月6日 10月12日 2月1日	中央図書館	107名	
都市・東京情報サービス連続公開講座	「建築にみる都市・東京」	2月2日 2月9日		102名	
東京マガジンバンク講演会	「元気の出る雑誌の話」仲俣暁生氏(編集者・文筆家)	10月6日	多摩図書館	51名	
	「今日もていねいにー編集長が語る『暮らしの手帖』の今〜」松浦弥太郎氏(暮らしの手帖編集長・エッセイスト)	1月26日		331名	
子供読書活動推進事業	「小さいひとのおはなし会『ウリボウのへや』」	4月〜3月(全22回)		延551名	
	読み聞かせ絵本講座	5月21日、30日 6月4日		41名	
	小学生自由研究講座	7月24日、27日		53名	
図書館見学ツアー	図書館見学ツアー(通常ツアー5回 テーマ別ツアー3回)	7月〜2月		中央図書館	87名
	バックヤードツアー(一般コース4回、団体コース4回、マガジncコース 2回、映画コース3回、児童コース 5回、視覚障害者コース 2回)	4月〜3月(全20回)		多摩図書館	298名
オンラインデータベース検索講習会(オンラインデータベースやCD-ROMの情報検索方法の説明)	ビジネス情報検索ショートセミナー	4月〜3月(10回)		中央図書館	20名
	法律情報検索ショートセミナー	4月〜3月(7回)	14名		
	健康・医療情報検索ショートセミナー	4月〜3月(6回)	12名		
	検索ショートセミナー(東京情報・美術情報・電子ジャーナル・人物情報等)	4月〜3月(13回)	37名		
	新聞記事検索ショートセミナー	4月〜3月(12回)	25名		
	雑誌記事検索ショートセミナー	4月〜3月(8回)	19名		
	雑誌記事検索ショートセミナー	5月〜3月(全6回)	多摩図書館	20名	
	新聞記事検索ショートセミナー	5月〜3月(全5回)		15名	

(3) 映画会(多摩図書館)

区 分	内 容	日 程	開催回数	参加者数
東京マガジンバンク第5回映画フェスティバル	2020東京オリンピック・パラリンピック応援映画会「所蔵フィルムに見る東京オリンピック1964への道」(5本立)として開催	3月2日	1回	9名
定例映画会	「舞台」(13回)、「絵巻物」(2回)、「建築の美」(4回)というテーマを設定し、所蔵フィルムから選択した記録映画を上映。「舞台」は、さらに「能」、「狂言」、「歌舞伎」、「文楽」等の小テーマを設定。この他に、前年度上映作品の続編『越後奥三面 第2部』を上映	6月〜3月	20回	626名
ミニシアター	名作・佳作だがフィルム状態があまりよくない映画を、鑑賞に堪える小規模会場で上映。定員が少人数となるため、5作品を2回ずつ上映	6月〜3月	10回	118名
特別映画会	夏休み子ども映画会 児童書を原作とする『大どろぼうホットエンプロッツ』を上映	7月28日	1回	80名
	「追悼 三國連太郎」【緊急企画】俳優・三國連太郎の追悼企画として、『襦袢の旗』を上映	5月23日 6月27日	2回	214名

9 区市町村立図書館職員等への研修等実績（平成25年度）

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修(情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。)
- ・障害者サービス研修(通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。)
- ・製本研修(資料の基礎的な修復をとおり、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。)
- ・講師派遣(区市町村立図書館からの申込みを受け、研修に講師を派遣する。)
- ・その他(各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。)

区分	研修・見学会・担当者会名		会場	回数	修了者数	
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「健康・医療情報」	中央図書館	1回	31名	
		テーマ別研修「ビジネス情報」		1回	33名	
		テーマ別研修「東京情報」		1回	36名	
		テーマ別研修「美術情報」		1回	29名	
		講師養成講座		1回	15名	
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ(全3日間)	多摩図書館	1回	128名	
		児童図書館専門研修Ⅱ		1回	69名	
児童図書館専門研修Ⅲ		1回		80名		
障害者サービス研修	音訳者講習会	初級研修(全6日間)	中央図書館	1回	22名	
		中級研修(全6日間)	多摩図書館	1回	22名	
		専門研修(H25は勉強会を実施)	中央図書館	1回	14名	
	障害者サービス研修	中央図書館	1回	54名		
製本研修	製本研修	中央図書館	2回	43名		
講師派遣	児童サービスボランティア養成講座(ステップアップ)(10月8日)		北区立中央図書館(1名派遣)	1回	38名	
	読み聞かせ研修(12月4日)		檜原村立図書館(2名派遣)	1回	24名	
	読み聞かせステップアップ研修(1月28日)		三鷹市立三鷹図書館(1名派遣)	1回	47名	
その他(担当者会等)	東京都公立図書館地域資料担当者会		中央図書館	2回	122名	
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会			3回	152名	
	障害者サービス担当者会		中央図書館	1回	54名	
	児童・青少年サービス担当者会(合同開催)		多摩図書館	1回	87名	
	東京都図書館研究交流会	新館見学会	第1回	練馬区立南大泉図書館・分室	1回	28名
			第2回	墨田区立ひきふね図書館	1回	38名
			第3回	目黒区立大橋図書館	1回	26名
			第4回	三鷹市立南部図書館	1回	29名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回	中央図書館	1回	58名
			第2回		1回	62名
			第1回		1回	38名
			第2回		1回	38名
	協力事務担当者会	第2回館長研修会講演会		中央図書館	1回	49名
		第1回	中央図書館、多摩図書館		2回	117名
第2回	中央図書館	1回	67名			

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研修名	主催者	派遣者数	回数	修了者数
講師派遣	児童図書館員養成専門講座(10月2日)	日本図書館協会	1名	1回	13名
	障害者サービス研修会(10月29日)	千葉県立西部図書館	1名	1回	35名
	社会教育指導者研修/家庭教育支援施策研修(12月9日)	地域教育支援部生涯学習課	1名	1回	198名

10 学校教育活動への支援事業実績（平成25年度）

(1) 目的

「第二次東京都子供読書活動推進計画」(平成21年3月東京都教育委員会策定)等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンス支援サービス

来館、電話、E-mail及びFAX等による問合せに対し、回答を行った。

- (ア) レファレンス件数 105件(授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等)
- (イ) 子供の読書に関する相談 121件(子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等)

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、7校29名の生徒を対象として、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受入校(学年)	実施場所	日程	日数	参加者数
秋田県鹿角市立花輪第一中学校(2年生)	中央図書館	4月17日	0.5日間	2名
愛知県知多市立旭南中学校(3年生)		6月14日	0.5日間	4名
都立南多摩中等教育学校(1年生)		10月23日	0.5日間	6名
新宿区立落合第二中学校(1年生)		1月24日	0.5日間	6名
大田区立大森第十中学校(1年生)		2月7日	0.5日間	5名
都立南多摩中等教育学校(1年生)	多摩図書館	10月23日	0.5日間	5名
海城中学校(2年生)		11月23日	0.5日間	1名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、9校26名の生徒が、職員の指導により、生徒が受付、資料の出納、整架及び本の紹介などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年)	実施場所	日程	日数	参加者数
神津村立神津中学校(2年生)	中央図書館	5月15日～16日	2日間	1名
練馬区立練馬東中学校(2年生)		9月26日～27日	2日間	1名
都立永福学園(2年生)		11月12日～14日	3日間	2名
渋谷区立松涛中学校(2年生)		11月25日～29日	5日間	1名
都立桜修館中等教育学校(2年生)		12月11日～12日	2日間	4名
星美学園中学校(2年生)		12月16日～18日	3日間	4名
立川市立立川第三中学校(2年生)	多摩図書館	7月1日～7月3日	3日間	3名
日野市立日野第四中学校(2年生)		9月19日～20日	2日間	3名
都立永福学園(1年生)		11月19日～11月21日	3日間	2名
小金井市立南中学校(2年生)		1月29日～1月31日	3日間	3名
都立永福学園(1年生)		2月12日～2月14日	3日間	1名
都立永福学園(1年生)		2月19日～2月21日	3日間	1名

エ 特別支援学校との連携(出張おはなし会の実施、セミナーの開催、研修等への講師派遣及び選書支援等)

実施校	連携・支援内容	日程	回数	参加者数	
(視) 都立久我山青光学園	出張おはなし会 資料貸出	5月14日, 7月22日, 9月19日 10月30日, 2月3日	5回	40名	
(聴) 都立大塚ろう学校	出張おはなし会	10月21日, 11月25日	7回	114名	
都立立川ろう学校	図書館整備	7月2日, 9月6日	2回	1名	
(知)	都立調布特別支援学校	出張おはなし会	9月24日	1回	20名
	都立中野特別支援学校	出張おはなし会	12月16日	15回	208名
	都立七生特別支援学校	出張おはなし会 資料貸出	1月20日	9回	166名
	都立永福学園	出張おはなし会	1月28日	7回	41名
	都立八王子東特別支援学校	出張おはなし会	2月5日	1回	40名
	都立品川特別支援学校	出張おはなし会	2月10日, 2月24日	5回	80名
	都立八王子特別支援学校	出張おはなし会 資料貸出	2月18日	3回	33名
	都立青峰学園	出張おはなし会 ブックトーク	2月25日	4回	22名
都立青山特別支援学校	図書館解説相談、選書	2月25日	1回	1名	

オ 啓発資料・ブックリスト等の提供 (所管:多摩図書館)

(ア)「東京都子供読書活動推進資料 子どもたちに物語の読み聞かせを」の都内小学校への配布	約106,547部
(イ)「東京都子供読書活動推進資料 扉をあけて II」の作成及び都内中学校への配布	約112,064部
(ウ)「東京都子供読書活動推進資料 羅針盤 II」の都内高等学校1年生への配布	約116,375部
(エ)「都立図書館・学校支援シリーズ 特別支援学校での読み聞かせ」の配布	約3,590部
(オ)「学校支援ツール」の配布(「読み聞かせABC」「これならできる!自由研究 111枚のアイデアカード集」「えほんかるた」「ほん・本・ごほん」「ほん・本・ごほん」クイズほか)	

カ 研修講師等の派遣(特別支援学校への派遣を除く)

実施校・研修主催者等	内 容	日 程	回数	参加者数
都立多摩図書館	特別支援学級 読み聞かせ講座	8月7日	1回	29名
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動Ⅱ	8月20日	1回	80名
福生第二小学校	出張読み聞かせ講座(特別支援学級)	8月27日	1回	30名
府中市立府中第九小学校	出張読み聞かせ講座(特別支援学級)	8月30日	1回	25名
東大和市小学校教育研究会	出張読み聞かせ講座(特別支援学級)	9月4日	1回	21名
目黒区立小学校図書館部研究会	ブックトーク実技研修	11月13日	1回	22名
板橋区特別支援学級(固定)設置校長会	出張読み聞かせ講座(特別支援学級)	11月15日	1回	38名
町田市公立小学校教育研究会	出張読み聞かせ講座(特別支援学級)	2月19日	1回	60名
鷗友学園中等高等学校	ブックトーク講座	3月10日	1回	7名

キ 学校への講師派遣等(特別支援学校への派遣を除く)

学校からの申込みを受け、ブックトーク等を実施したほか、授業への講師派遣及び資料貸出等を行った。

実施校等	内 容	日 程	回数	参加者数
立川市立第三小学校	図書館見学、自由研究講座	6月18日	8回	100名
練馬区立早宮小学校	自由研究講座	7月10日	3回	81名
板橋区立志村小学校	自由研究講座	7月18日	4回	110名
羽村第一中学校	ブックトーク	5月17日	6回	402名
城西大学附属中学校	ブックトーク	1月31日	3回	67名
都立小平西高等学校	読み聞かせ講座	5月8日	1回	12名
田園調布学園	ブックトーク	7月5日	1回	10名
都立上水高等学校	ブックトーク	7月23日	2回	19名
都立小金井北高等学校	図書館見学	8月29日	1回	7名
都立上水高等学校	読み聞かせ講座	11月1日	1回	19名
都立世田谷高等学校	読み聞かせ講座	1月10日, 14日	2回	32名
都立立川高等学校定時制	ブックトーク	3月18日	1回	87名
都立拝島高等学校	点字絵本の貸出	1月5日～2月28日	1回	
八王子学園	ブックトーク	7月25日	2回	36名

11 職員研修等実績（平成25年度）

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得、向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研 修 名	会 場	回数	修了者数	
実務研修	新任・転入職員研修	中央図書館	1回	18名	
	新任司書職員研修		(前期)	1回	6名
		(後期)	中央図書館、多摩図書館	1回	6名
	「ロジカルライティング」	中央図書館	1回	11名	
	製本研修		I	1回	12名
			II	1回	10名
		III	多摩図書館	1回	20名
専門図書館視察研修「資料デジタル化の取組」	国立国会図書館	1回	11名		

区分	研 修 名	主 催	日数	修了者数
派遣研修	ビジネス・ライブラリアン講習会	ビジネス支援図書館推進協議会	3日間	1名
	金融機関に評価される事業計画の作り方	公益財団法人東京都中小企業振興公社	1日間	1名
	企業会計と決算書の読み方・銀行取引のポイント	公益財団法人東京都中小企業振興公社	1日間	1名
	法律図書館基礎講座	法律図書館連絡会	1日間	2名
	患者図書館司書養成講座	日本病院患者図書館協会	6日間	1名
	医学図書館員基礎研修会	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	3日間	2名
	医療・健康情報サービス研修会	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	2日間	2名
	日本病院ライブラリー協会研修	日本病院ライブラリー協会	2日間	1名
	2013日本子どもの本研究会全国大会	日本子どもの本研究会	2日間	1名
	子どもの本の学校（連続公開講座）	日本こどもの本研究会「多摩校運営委員会」	2日間	1名
	お話の基礎を学ぶ	子どもの本研究所	2日間	1名
	ブックトーク講座	一般財団法人出版文化産業振興財団	1日間	1名
	日本古典籍講習会	国文学研究資料館、国立国会図書館	4日間	1名
	西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学社会科学古典資料センター	3日間	1名
	マルチメディアDAISY製作特別研修	公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会	2日間	2名
	アジア情報研修	国立国会図書館（関西館）	1日間	2名
	東京国際ブックフェア	東京国際ブックフェア実行委員会、リードエグジビジョンジャパン株式会社、特定非営利活動法人本の学校	1日間	4名
	文化財の虫菌害・保存対策研修会	公益財団法人文化財虫害研究所	2日間	1名
	保存フォーラム	国立国会図書館	1日間	4名
	第7回資料保存シンポジウム	情報保存研究会、社団法人日本図書館協会	1日間	3名
	システム管理研修（WindowsServer運用実践セキュリティ編）	株式会社富士通ラーニングメディア	2日間	1名
	システム管理研修（WindowsServer2008AD編）	株式会社富士通ラーニングメディア	2日間	1名
	国立国会図書館総合目録ネットワーク研修会	国立国会図書館	1日間	2名
	国立国会図書館データベースフォーラム	国立国会図書館	1日間	1名
	資料デジタル化研修	国立国会図書館	2日間	1名
	冊子本のデジタル化講座	特定非営利活動法人コンサルウェル	1日間	1名
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	3日間	2名
	ソーシャルメディアマーケティングセミナー	株式会社宣伝会議	1日間	1名

12 刊行物及びホームページでの情報提供（平成25年度）

(1) 刊行物一覧表（平成25年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 平成25年版	平成25年9月	800部
東京都立中央図書館 新聞・雑誌目録 2013年12月現在	平成26年3月	40部
東京都立多摩図書館 新聞・雑誌目録 2013年12月現在	平成26年3月	20部
DAISY図書目録 2000年3月～2013年7月（墨字版）	平成25年12月	200部
東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 163～No. 168	平成25年4月～ 平成26年2月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 44～No. 46	平成25年6月～ 平成26年2月	各250部
【多摩図書館】		
「特別支援学校での読み聞かせ 都立多摩図書館の実践から」	平成25年4月	4,000部
「扉をあけてⅡ 中学生のあなたにおくる56冊の本」	平成25年12月	113,500部

(2) 有償刊行物（都庁第一庁舎3階都民情報ルーム等で販売）

「読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに」 平成24年8月22日販売開始 頒布価格 200円
平成25年度販売数 1,170冊

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

- ・江戸城造営関係資料修理報告書
http://www.library.metro.tokyo.jp/edo_tokyo/tokubun_guide/tabid/781/Default.aspx
- ・江戸・東京デジタルミュージアム
http://www.library.metro.tokyo.jp/portals/0/edo_tokyo_library/index.html
- ・専門図書館ガイド
<http://metro.tokyo.opac.jp/tml/trui/>
- ・東京関係地図目録
http://www.library.metro.tokyo.jp/edo_tokyo/tokyo/tabid/1216/Default.aspx
- ・東京都立図書館住宅地図総合目録
http://www.library.metro.tokyo.jp/edo_tokyo/tokyo/house_map/tabid/1221/Default.aspx
- ・東京情報月報
http://www.library.metro.tokyo.jp/edo_tokyo/tokyo/tokyo_month/tabid/1036/Default.aspx
- ・区市町村立図書館新聞雑誌総合目録
<http://www.library.metro.tokyo.jp/download/category/tabid/171/Default.aspx>

上記のほか、「東京の公立図書館情報」、「これならできる！自由研究111枚のアイデアカードから選ぼう」等の情報を掲載している。

13 コレクションの紹介

(1) 特別文庫室資料(中央図書館)

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代初期の資料を中心に、約 243,000 点(冊)を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された 10 万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書(イ～ケ)、③寄託・寄贈資料など(コ～セ)からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。

以下、資料の点数(冊数)には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約 43,500 点(冊)

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長禄年代(1450年代)から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約 24,100 点(冊)

加賀豊三郎氏(1872-1982)の旧蔵書で、和書、古文書、石牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙ならびに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約 20,000 冊

文学博士諸橋徹次氏(1883-1982)旧蔵の和漢書、経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約 1,900 冊

元大蔵大臣(昭和15)河田烈氏(1883-1963)旧蔵書で、祖父河田迪斎から代々集積された書籍である。曾祖父に当たる佐藤一斎の「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約 30,200 冊

市村瓊次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究家にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約 24,300 冊

井上哲次郎(巽軒)氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約 7,600 冊

実藤恵秀氏(1896-1985)の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約 8,500 点

もと軍人であり、人物研究家としても活躍した渡辺金造(刀水)氏(1874-1965)が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡等も含まれている。

ケ 特別買上文庫 諸家 約 38,600 点(冊)

戦時特別買上図書のうち、上記イ～ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約 6,000 冊

言語関係資料には安藤文庫(安藤正次氏旧蔵)の落合直澄旧蔵書、文学関係資料に

は池田文庫（池田^{きかん}龜鑑氏旧蔵）の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫（蜂屋^{はちやもきつ}茂橘氏旧蔵）の草双紙類 600 余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約 10,000 点 (冊)

岡文庫（岡^{せんじん}千仞[鹿門]氏旧蔵）の稿本類、反町文庫（反町^{はんまち}茂雄氏旧蔵）の仏教関係古写本、中山文庫（中山^{なかやま}久四郎氏旧蔵）の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫（宍戸^{ししど}昌^{さか}氏旧蔵）の海雲楼博物雜纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫（岩垂^{いわたれのりよし}憲徳氏旧蔵）、蜂屋文庫、横山文庫（横山^{よこやま}健堂氏旧蔵）にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録が作られている。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなっている。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だっちはないが、中には希覯なものも含まれている。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

もと日本郵船株式会社社長近藤^{ねんぺい}廉平氏（1848-1921）の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和 6 年に当時の市立日比谷図書館に寄託され、一般公開された。

昭和 20 年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した洪沢^{せいせん}栄一（青淵）氏（1840-1931）が創始した文庫で、大正 12 年の関東大震災でそのほとんどを失ったが、孫の洪沢

敬三氏（1896-1963）がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和 38 年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

中山太郎氏（1876-1947）が収集した、正保 2（1645）年から大正 4（1915）年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975 年に木子清忠氏（1913-1995）から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,500 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



▲ 『言志録』第 1 稿本 1 冊 請求記号:121-KW-5

『言志晩録』一斎書入れ本 1 冊 請求記号:

121-KW-11

幕府の教育施設「学問所」（昌平齋とも）の教官として幕末に活躍した儒者の佐藤一斎（1772-1859）は、「言志四録」と総称される四部の箴言録を主著とする。ここに掲げたのは、そのうち「言志録」と「言志晩録」の執筆稿本である。

当館の河田文庫には、上掲の稿本類のように、佐藤一斎を研究する上で不可欠の資料を多く所蔵している。一斎自筆のおびただしい量の書き込みからは、学問に懸ける彼の思いが伝わって来る。

(2) 東京資料(中央図書館)

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体で編集発行された郷土資料など図書約216,600冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約620種、雑誌は約2,000種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料(中央図書館)

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約146,000冊(中国語、韓国・朝鮮語図書を除く。)がある。

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に、書誌索引類や言語辞典、各分野の辞典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

文学については、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、日本に関する外国語図書とともに、洋書の蔵書において特色の一つとなっている。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約63,500冊がある。

1972年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約19,000冊がある。

1975年から収集を開始し、幅広い分野の図書を所蔵している。

各種辞事典類にも重点をおいて収集している。

(4) 山本有三文庫(多摩図書館)

小説家、劇作家である故山本有三氏(1887-1974)の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約13,500冊、雑誌約300誌がある。

(5) 雑誌創刊号コレクション(多摩図書館)

「東京マガジンバンク」では、雑誌の創刊号を収集し「創刊号コレクション」として、平成26年3月末現在6,010誌を所蔵している。そのうち、約80誌を開架閲覧室のコーナーに展示している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することで時代の流れが見えるもので、貴重なコレクションである。

(6) 児童・青少年資料(多摩図書館)

明治以降に日本で出版された児童書(図書・雑誌)、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約207,000冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約5,500冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊行の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

14 東京都立図書館協議会

(1) 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第14条及び東京都立図書館条例第3条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

(2) 第26期東京都立図書館協議会について

「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」をテーマとして協議を行った。主な協議内容は以下の通り。平成26年度は提言の取りまとめに向けて引き続き協議を行う。

第1回（平成25年7月1日開催）

- 議事 ① 都立図書館の概要
 ② 協議テーマの決定
 ③ 都立図書館における取組状況について

第2回（平成25年9月2日開催）

- 議事 ① 第1回協議会における意見等
 ② 第21期協議会提言以降の取組と課題
 ③ 東京都教育委員会の取組
 ④ 各学校における図書館からの支援の活用状況

第3回（平成25年11月18日開催）

- 議事① 各学校における図書館からの支援の活用状況（第2回続き）
 ② これまでの委員のご意見と関連事項の検討について

第4回（平成26年2月17日開催）

- 議事① 区市町村立図書館が行う読書推進活動への支援について
 ② 電子書籍等を活用した読書推進について

東京都立図書館協議会第26期委員名簿（任期 平成25年5月1日～平成27年4月30日）

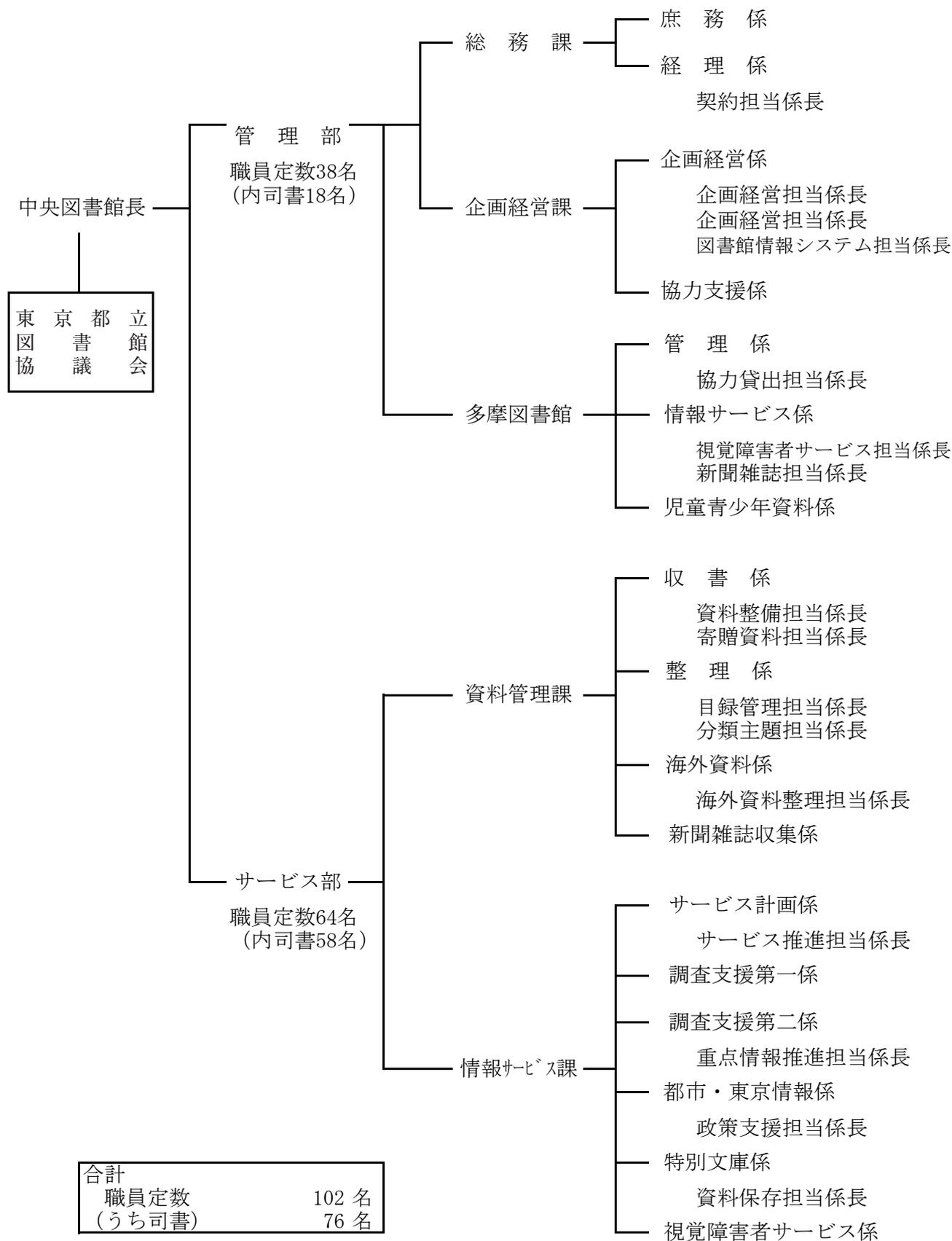
氏 名	職 名（平成25年5月1日現在）
岩 崎 久美子	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官
押 尾 勲	東京都立南多摩中等教育学校長 兼 東京都立南多摩高等学校長
岸 田 和 明	慶應義塾大学文学部教授
小 池 眞喜夫	港区教育委員会教育長
近 藤 精 一	東京学芸大学大学院教育学研究科（教職大学院）教授
齊 藤 一 誠	国際基督教大学学長特別補佐
坂 倉 仁	八王子市教育委員会教育長
武 山 洋二郎	帝京大学中学校・高等学校長
梨 屋 アリエ	児童文学作家・法政大学非常勤講師
野 末 俊比古	青山学院大学教育人間科学部准教授
原 田 久 義	国立国会図書館電子情報部主任司書
星 野 喜代美	文教大学附属中学・高等学校長

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期 間	答申等年月	答 申 等
第1期	昭和35年2月 ～昭和37年1月	昭和37年2月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第2期	昭和37年2月 ～昭和39年1月	昭和38年7月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第4期	昭和41年3月 ～昭和43年2月	昭和43年2月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第6期	昭和45年4月 ～昭和47年3月	昭和46年12月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第8期	昭和47年7月 ～昭和49年6月	昭和49年6月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方 (答申)
第11期	昭和55年9月 ～昭和57年9月	中間答申 昭和56年6月 最終答申 昭和57年5月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第15期	昭和63年10月 ～平成2年10月	中間答申 平成2年3月 最終答申 平成2年10月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第16期	平成3年1月 ～平成5年1月	平成4年12月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第17期	平成5年4月 ～平成7年4月	平成7年3月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について (意見具申)
第18期	平成7年7月 ～平成9年7月	平成9年3月	21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割 (答申)
第19期	平成9年11月 ～平成11年10月	平成11年10月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第20期	平成11年11月 ～平成13年10月	平成13年10月	高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方 －ITを活用したサービスの革新－ (提言)
第21期	平成14年4月 ～平成16年3月	平成15年3月 平成16年2月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何をすべきか (提言1) 都内公共図書館発展のための連携協力について (提言2)
第22期	平成16年10月 ～平成18年9月	平成18年3月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第23期	平成18年12月 ～平成20年11月	平成20年11月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第24期	平成21年5月 ～平成23年4月	平成23年3月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第25期	平成23年5月 ～平成25年4月	平成25年3月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)

15 東京都立図書館運営組織図

(平成26年4月1日現在)



16 東京都立図書館事務分掌

担当部署	業務内容		
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の文書の管理	
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）	
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）	
		多摩図書館の統括・連絡・調整	
		中央図書館の施設及び設備の維持管理	
		中央図書館の館内の取締り	
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括	
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査	
		東京都立図書館協議会に関すること	
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること	
		図書館情報システムの運営	
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援	
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整	
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること	
		都立図書館の館報等の編集及び発行	
		図書館職員等の研修	
	海外の図書館等との交流に関すること		
	多摩図書館	多摩図書館の庶務	
		多摩図書館の文書の管理	
		多摩図書館の広報・統計・調査	
		多摩図書館のサービス計画に関すること	
		多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存	
		多摩図書館の図書館資料の利用に関すること	
		雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援	
		多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること	
		多摩図書館における視覚障害者に対する資料の朗読・録音等に関すること	
		多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること	
		都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し	
		多摩図書館の利用案内に関すること	
		多摩図書館の施設及び設備の維持管理	
	多摩図書館の館内の取締り		
	サービス部	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
			都立図書館の資料管理に関すること
都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）			
都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること			
都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）			
都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）			
情報サービス課		都立図書館の情報サービス計画に関すること	
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること	
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び 都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること	
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存	
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存	
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること	
		中央図書館における視覚障害者に対する資料の朗読及び録音等に関すること	
		中央図書館の図書館資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること	
中央図書館の利用案内に関すること			

東京都立図書館処務規則より抜粋

17 施設概要

中央図書館

中央図書館は、東京地下鉄日比谷線広尾駅から徒歩約8分、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

○利用者玄関ホール（1階）

受付カウンターで「入館証」を受け取り、ストラップを首にかけて館内に入ります。この入館証は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用申込みに用いるもので、入館時刻・退館時刻及び在館時間が機械的に記録される仕組みとなっています。入館に当たって、氏名や住所などを登録する必要はありません。

玄関ロビーの新聞立見台には、当日の新聞16紙が備え付けられ、自由に閲覧できます。

個人貸出をしていないため、出入口には、資料の持出防止装置（BDS）が設置されています。

○中央ホール（1階）

吹き抜けのホール正面奥に、カウンターが3つ並んでいます。中央が「総合案内・相談」、右が書庫内資料の出納専用の「資料お渡し・返却」、左が「複写受付」の窓口です。「総合案内・相談」カウンターでは、複数の司書職員が資料に係る相談に応じます。

中央ホールには、12台の蔵書検索パソコンのほか、7台のインターネット専用パソコンがあります。また、図書館で提供するオンラインデータベース32種のうち14種は、中央ホールで利用できます。エレベーター脇には、「新着図書コーナー」があり、毎週届く新着図書約900冊のうちの一部を展示しています。座席数は32席です。

中央ホール及び2階・3階閲覧室では、フロア案内スタッフが、館内の利用案内や蔵書検索パソコンの操作支援等を行っています。

○重点的情報コーナー（1階）

（中央ホール 左側閲覧室）

「ビジネス情報」、「法律情報」、「健康・医療情報」の順に重点的情報コーナーが並んでいます。「ビジネス情報コーナー」には、ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。「法律情報コーナー」には、法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故、近隣トラブル等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。「健康・医療情報コーナー」には、病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べ



▲ 中央図書館

たいときに役立つ資料を備えています。また、闘病体験記録約1,700冊を集めた「闘病記文庫」を開設しています。

それぞれの重点的情報コーナーには、関連する内外の雑誌やオンラインデータベースが用意され、図書と併せて利用することができます。座席数は33席です。

○新聞閲覧コーナー（1階）

（中央ホール 左側閲覧室）

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の一般週刊誌13誌も備えています。

過去の新聞（約500紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約4,000誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります）。書庫内の新聞・雑誌・マイクロ資料の利用は、「資料請求票」で「資料お渡し・返却」カウンターにお申込みください。座席数は32席です。

○都市・東京情報コーナー（1階）

（中央ホール 右側閲覧室）

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。また、「都市計画」「都市産業」など都市に関する資料を9つのテーマで配置するとともに、国内の政令指定都市や海外の主要都市に関する資料を提供しています。開架図書は約30,000冊、座席数は30席です。

○基本参考図書コーナー（1階）

日本及び世界各国の百科事典、語学辞典類（一部）、書誌目録類のほか、各主題に関する基本参考図書があります。また、全国の電話帳、東京都及び近接県の最新の住宅地図を備えています。



▲ 都市・東京情報コーナー（1階）

○社会・自然科学系 資料・閲覧室（2階）

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農業、林業、商業、交通、通信等の図書約10万冊を開架しています。また、JIS（日本工業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約1,400冊を備えています。

2階の閲覧室では、「案内ホットライン」のデスクから専用電話で司書職員を呼び、相談することができます。座席数は193席です。

○人文科学系 資料・閲覧室（3階）

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約16万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」は、県史・市町村史約3万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約1万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。そのほか、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約1万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

3階の閲覧室では、「案内ホットライン」のデスクから専用電話で司書職員を呼び、相談することができます。座席数は292席です。

○視覚障害者サービス室（3階）

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は4室あり、録音図書（デージー図書を含む）5,849点、点字図書616点、点字雑誌8種等の資料が利用できます。

利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

また、弱視の方のために、拡大読書器を備えてい

ます（拡大読書器は、1階新聞閲覧コーナーと2階社会・自然科学系 資料・閲覧室にもあります。）。

○4階閲覧室

144席のほぼ全席が机上に電源を備えたパソコン席です。無線LANが利用できます。

○企画展示室（4階）

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。



▲ 企画展示室（4階）

○グループ閲覧室（4階）

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。座席数は24席です。

○多目的ホール（4階）

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。約150人を収容できます。

○5階閲覧室

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。座席数は88席です。

○音声・映像資料室（5階）

図書や雑誌だけでは調査が不十分なもの、あるいは十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD等、約17,000点を所蔵し、利用に供しています。座席数は24席です。

○セミナールーム（5階）

図書館利用に関するガイダンスやパソコンを使った説明会・研修等に使用しています。ノートパソコンや電動式スクリーンを備えています。

○特別文庫室（5階）

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）余を保管し、利用に供しています（p29～p30 参照）。

資料は全て書庫に収め、冊子目録等で検索して「資料請求票」により出納しています。

資料の保存と有効活用のため、デジタル化事業を進めています。現在、ホームページの東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）で一部を公開しています。座席数は 10 席です。

○談話室（5階）

談話室では、窓側にカウンター席もあり、携帯電話の利用、自動販売機で購入した飲み物も飲むことができます。また奥（窓側）の部屋では、「ビブリオバトル」の実践が可能です。

○カフェテリア（5階）

カフェテリアの広々とした窓からは、東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。さらに、窓際にカウンター席を設け個人で食事をしながらの寛ぎの空間として利用できます。

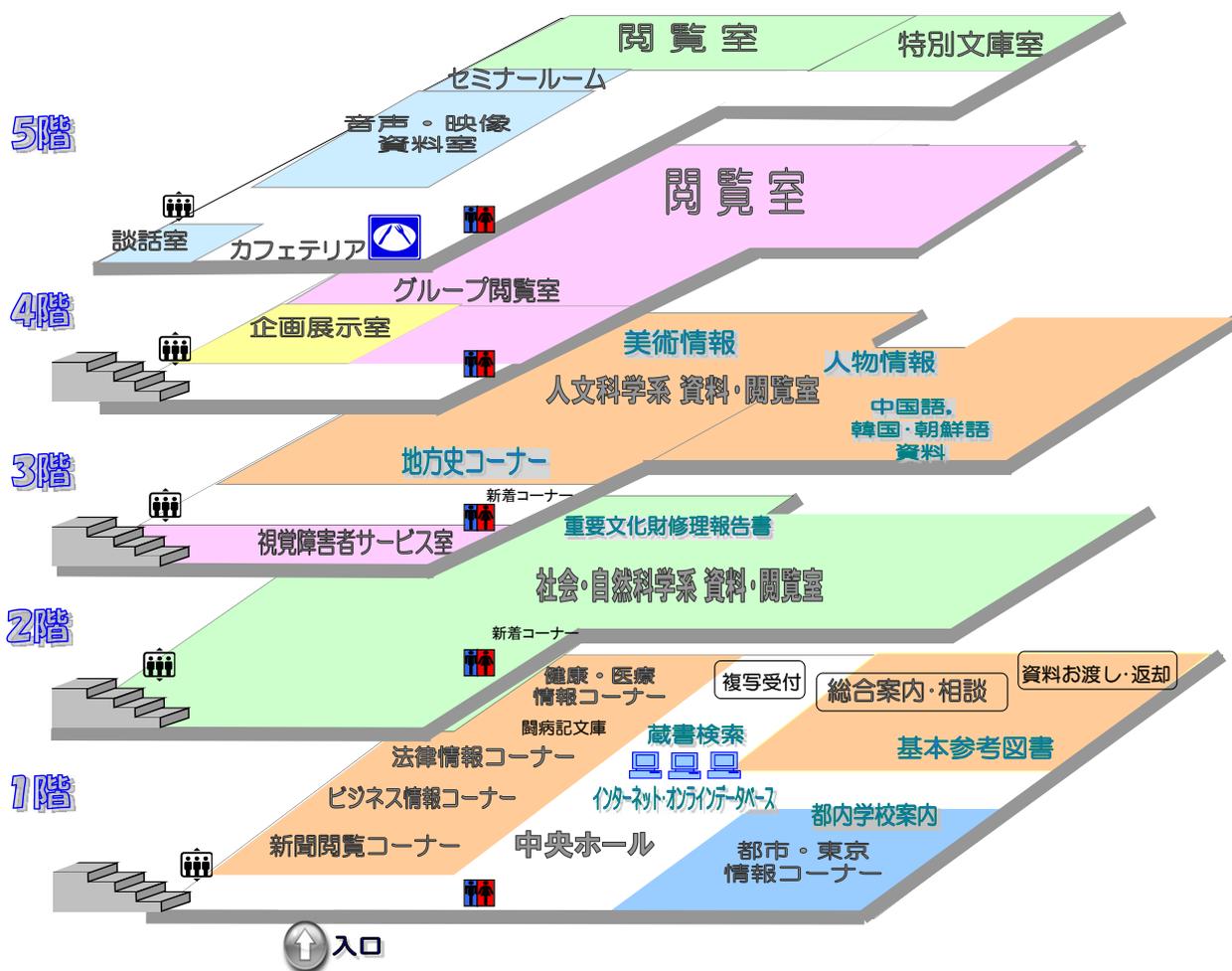
○その他

1階から3階には、1人用閲覧席が計 31 席あります。パソコン席は、1階から4階までに計 290 席（1人用パソコン席を含む。）あります。

また、1階と2階の多目的トイレには、おむつ替え用サークル、3階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。館内用の車椅子は利用者玄関に 2 台用意しています。

〔建物概要〕

昭和48年1月	新築、開館
平成7年7月～平成8年5月	施設・設備改修
平成20年5月～12月	施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート	地上5階、地下2階
敷地面積	9,157.21 m ²
延べ床面積	延 23,196.21 m ²
書庫収蔵能力	約 208 万冊 (うち、開架 35 万冊)
閲覧席	902 席 (スツール席含め、1,018 席)
建物内全面禁煙	



多摩図書館

多摩図書館は、JR南武線西国立駅から南へ徒歩10分、「東京都多摩教育センター」1階にあります。

17,000誌の雑誌が利用いただける「東京マガジンバンク」と「児童・青少年資料サービス」を中心とした情報サービスを提供しています。

閲覧室を「雑誌、創刊号、児童、青少年、展示、新聞」の各専門エリアに分け、特色あるサービスを行っています。

○総合カウンター

利用者受付、相談カウンター、出納カウンターが、一か所にまとめられ、レファレンスのほか、検索支援や出納などを行っています。

個人貸出をしていないため、出入口には、資料の持出防止装置（BDS）が設置されています。

○雑誌エリア

所蔵する継続刊行中の雑誌約5,700誌から選んだ534誌を、25のジャンルに分けて配架しています。最新号や約1年分のバックナンバーを手にとりご覧いただけます。

○創刊号エリア

年代別に並べられた雑誌の創刊号を見ることができます。当館所蔵の創刊号コレクション約6,010誌のうち、約80誌を展示しています。



▲ 東京マガジンバンク

○児童エリア

乳幼児から小学生までを対象として選びぬかれた児童書があり、読み聞かせコーナー等でゆっくり本を読むことができます。また、研究書コーナーや読み聞かせ絵本のコーナーなどが設置されており、保護者の方や子供の読書に関わる方へのサービスも行っています。



▲ 多摩図書館（東京都多摩教育センター内1階）

○青少年エリア

中高生世代に向けた小説や調べ学習に役立つ資料のほか、キャリアデザインコーナーなどを設置し、さまざまなテーマによる読書や資料の活用法を提案しています。カウンター席で落ち着いて学習できます。

○展示エリア

入口通路に面した「展示エリア」では、東京マガジンバンクや児童青少年の資料について、タイムリーな企画展示を定期的に行っています。

○新聞エリア

所蔵する約170紙のうち、全国紙、専門紙など約50紙について最近の新聞を閲覧することができます。原紙のほか縮刷版・マイクロフィルムも所蔵しています。

マイクロフィルムを閲覧するための機器（マイクロリーダー）も備えています。

○対面音訳室

視覚障害者等のための対面音訳サービス及び録音図書作成を行う部屋（2室）です。

閲覧室には、このほか、調べものに必要な参考図書約3,000冊を備えた「参考図書エリア」や東京都各局の最近の主要刊行物約1,500冊を集めた「都政情報コーナー」、全国の電話帳があります。

また、都立図書館の蔵書検索やデータベースの検索ができる検索パソコンエリアがあります。

○その他

閲覧室と別に、学校での読書活動に役立つ資料を設置した「セミナールーム」があります。学校の授業での活用ができます。

また、地下には書庫とフィルム保管庫があります。

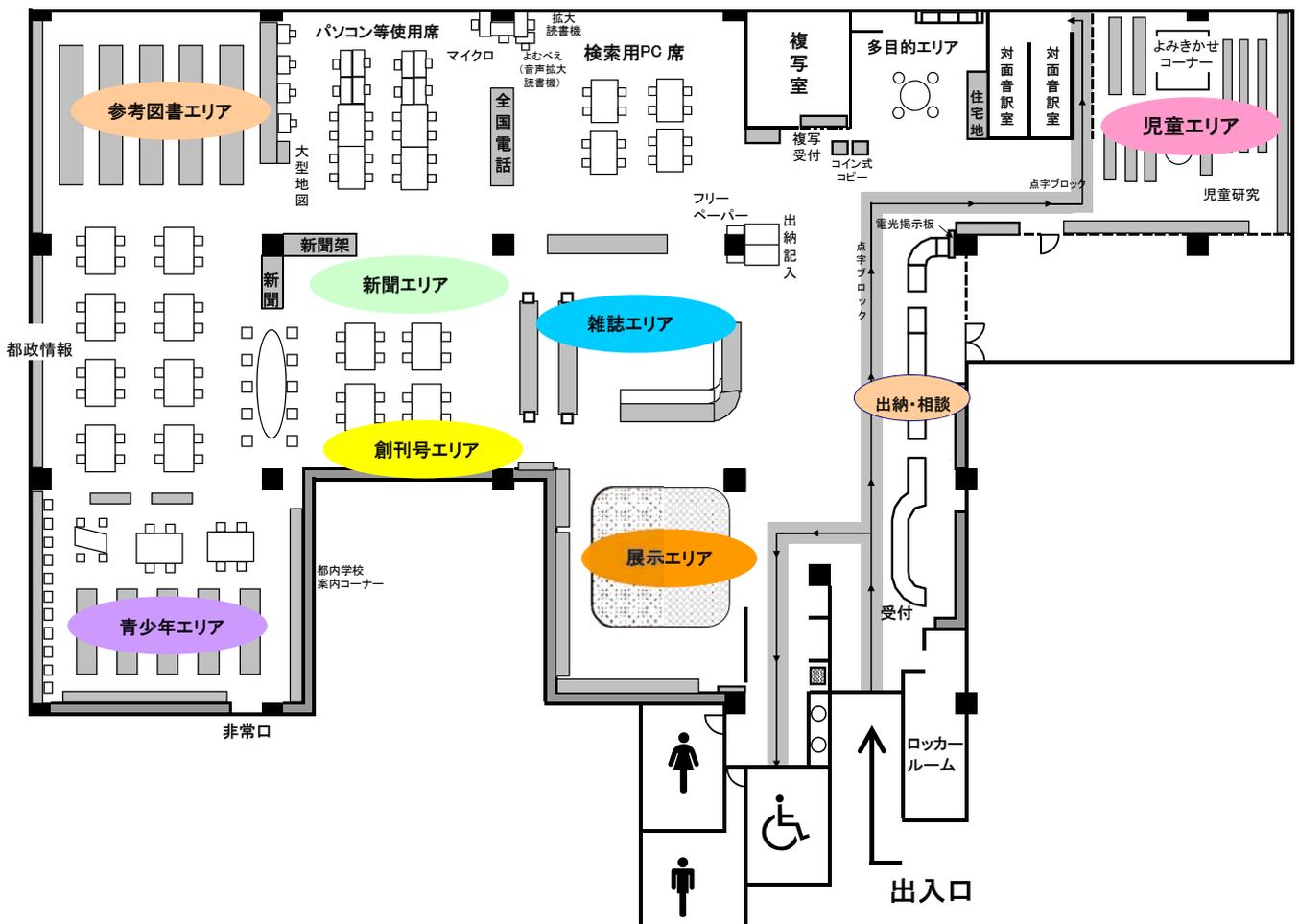
〔建 物 概 要〕

(東京都多摩教育センター)

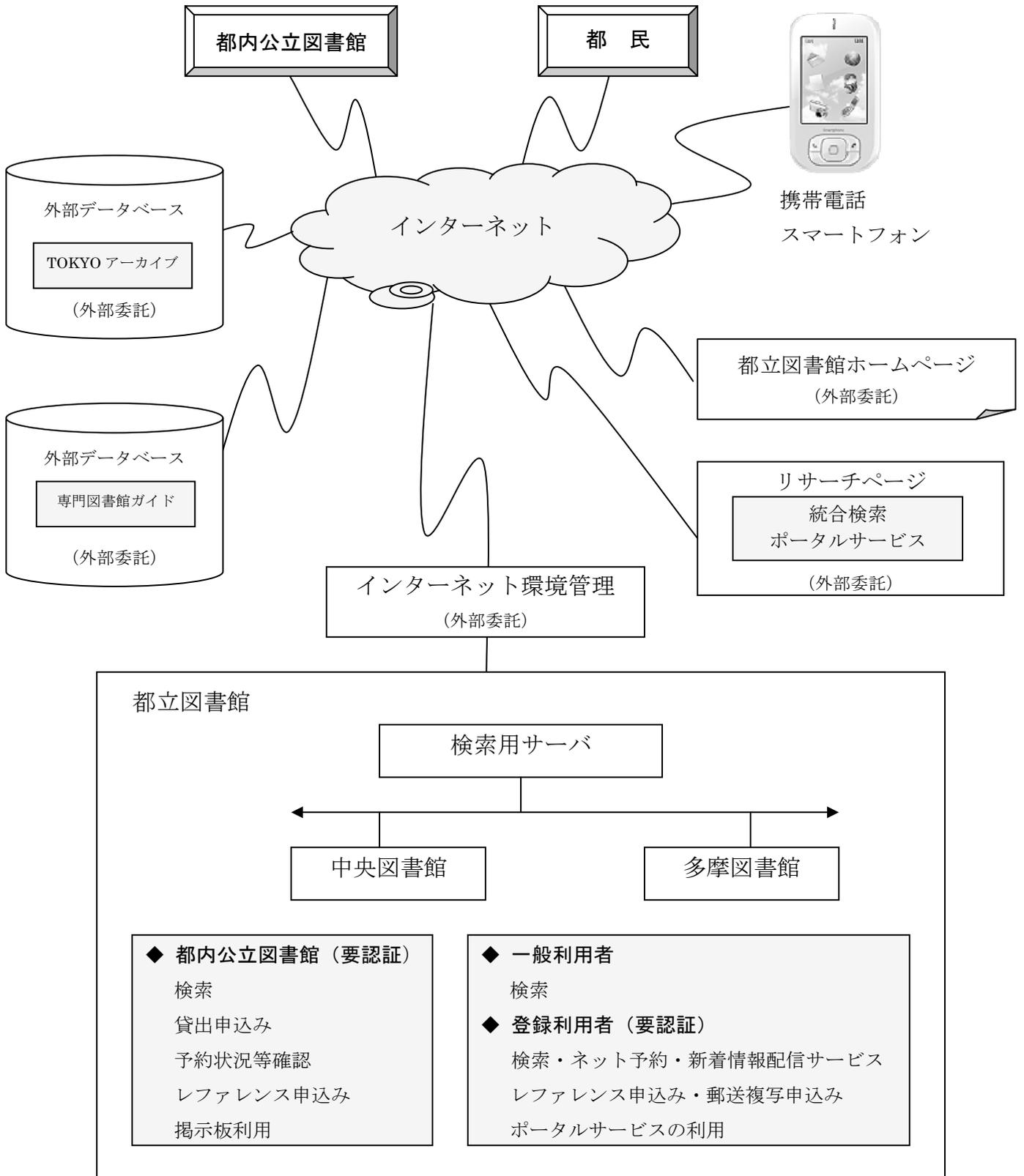
昭和62年 5月 新築、開館
 平成21年1月～3月 施設・設備改修
 鉄筋鉄骨コンクリート 地上4階、地下2階
 敷地面積 9,161 m²
 延べ床面積 延 19,998 m²
 建物内全面禁煙

(多摩図書館) 東京都多摩教育センターの地上1階、地下1・2階の一部

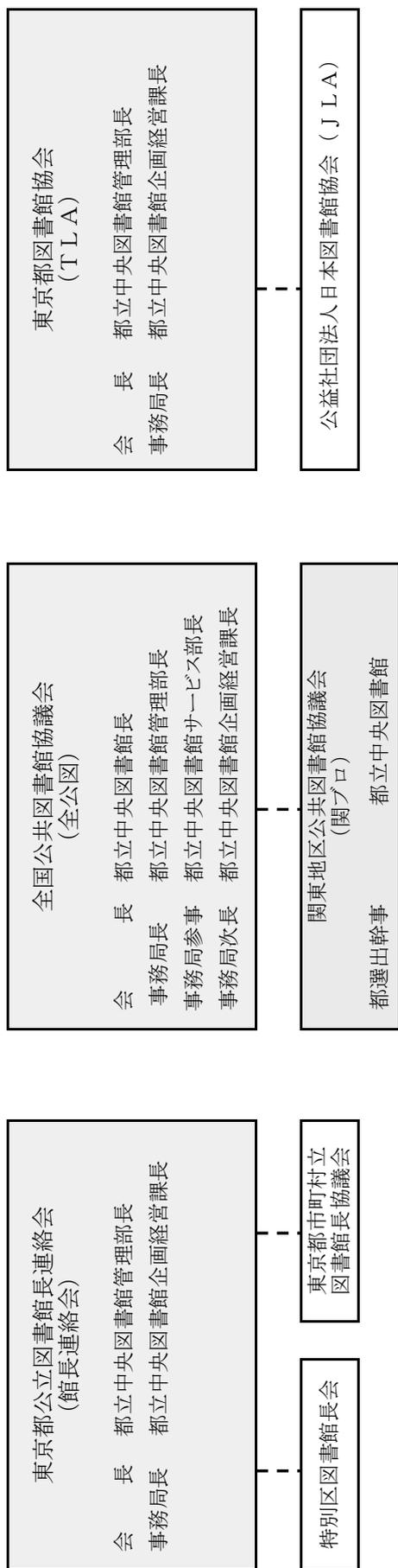
専用延床面積 延 4,351.1 m²
 書庫収蔵能力 約 103 万冊
 (うち、開架 3.8 万冊)
 閱 覧 席 135 席
 (スツール席含め、158 席)



◆ 都立図書館ネットワーク概念図



◆ 図書館関係団体・組織一覧



1 東京都立図書館長連絡会（館長連絡会）

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱（17中図管企第74号）により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村図書館長協議会会長が充てられている。

2 全国公共図書館協議会（全公図）

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行う、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

3 東京都図書館協会（T L A）

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに關係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和51年5月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

4 関東地区公共図書館協議会（関プロ）

関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

※ 当館は、公益社団法人日本図書館協会（J L A）に加入していない。

◆ 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立（19館）
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都政施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画1962」（都立日比谷図書館協議会答申）
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」（都立日比谷図書館協議会答申）
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」（都立日比谷図書館協議会答申）
3 都立中央図書館（仮称）建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定（都立日比谷図書館）
45. 6 「図書館政策の課題と対策」（都の公共図書館振興施策）を知事に報告（図書館振興プロジェクトチーム）
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」（都立日比谷図書館協議会）
47. 10 東京都立図書館設置条例一部改正（1972.12東京都立中央図書館設立）
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告（図書館振興プロジェクトチーム）
12 都立江東図書館基本構想策定（図書館建設問題協議会）（東京都中期計画－1972－に組み入れる）
48. 1 都立中央図書館開館
10 都立江東図書館基本計画策定（図書館建設委員会、建設調査会）
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について（都立中央図書館協議会答申）
9 「都立多摩センター図書館（仮称）構想」中間報告（多摩三館連絡会）
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定（51.4 東京都立江東図書館設立、51.6開館）
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」（都立図書館のあり方検討委員会）
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告（多摩地区都立図書館将来計画検討協議会）
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」（都立中央図書館協議会）
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」（都立図書館のあり方検討委員会）
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定（都立中央図書館）
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」（都立中央図書館協議会答申）
「都立多摩図書館（仮称）検討報告書」（多摩三館連絡会）
11 「東京都多摩教育センター（仮称）基本計画概要」発表（教育庁）
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」（多摩三館連絡会）
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定（都立中央図書館）
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正（61.10 東京都立江東図書館を江東区へ移管）
62. 3 東京都立図書館設置条例改正（名称変更：東京都立図書館条例62.4東京都立多摩図書館設立）
5 都立多摩図書館開館
63. 3 都立図書館電算システム和図書館稼働
10 都立図書館電算システム逐次刊行物（年鑑・年報）稼働

- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
- 10 都立図書館電算システム逐次刊行物（新聞・雑誌）稼動
2. 3 「新日比谷図書館の機能について」（都立図書館協議会中間報告）
- 10 「新日比谷図書館の機能について」（都立図書館協議会答申）
4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
- 12 「都立図書館の資料の保存機能について」（都立図書館協議会意見）
7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について（第17期東京都立図書館協議会意見書）」
9. 3 「新日比谷図書館基本構想」（教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会）
「21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」（第18期東京都立図書館協議会答申）
10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定（都立三館）
- 7 都立図書館処務規則全部改正
11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何かができるか？－社会問題への図書館の関わり方」（第19期東京都立図書館協議会提言）
- 11 「資料保存計画」策定（東京都立図書館資料保存委員会）
東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
- 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
12. 2 都立図書館新電算システム稼動
都立図書館ホームページ開設
- 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
- 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館（平成14年2月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送）
- 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－ITを活用したサービスの革新」（第20期東京都立図書館協議会提言）
- 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」（都立図書館あり方検討委員会報告）
- 3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
- 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の3館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
- 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」（第21期東京都立図書館協議会提言1）
- 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始（19年度から、「ビジネス情報サービス」に変更）
16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」（第21期東京都立図書館協議会提言2）
- 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
- 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」（第二次都立図書館あり方検討委員会報告）
18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」（第22期東京都立図書館協議会答申）
- 7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
- 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
- 7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース（G-Searchサービス）の有償提供の試行開始
- 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の8係を6係に組織改正
- 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性について合意

- 11 都立図書館創立100周年＜明治41年（1908）年11月16日、東京市立日比谷図書館として開館＞
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第23期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
- 12 「東京都立図書館条例」「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
- 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3月31日まで開館し、4月1日から移管準備作業のため休館（7月1日移管）
- 4 都立中央図書館では、複写受付時間を早め、午前10時から開始
- 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
- 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
- 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成22年1月1日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY図書や点字図書の貸出しを開始
都立中央図書館は、文部科学省の呼びかけにより、有志図書館が結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
- 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
- 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成23.12）
「デジタル時代の都立図書館像」（第24期東京都立図書館協議会提言）
- 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
- 11 東京都立図書館Twitterを開始
- 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館Facebookを開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
- 10 電子新聞（2タイトル）の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
- 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指して－より質の高い図書館サービスの追求－」（第25期東京都立図書館協議会提言）
- 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYOアーカイブ）」を開設
- 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
- 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYOアーカイブ）」機能追加

◆ 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)

最終改正 平成20年12月25日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 一 図書館資料の館内利用
- 二 利用者に対する情報サービス
- 三 都内公立図書館等に対する協力支援
- 四 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 五 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 六 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 七 視覚障害者に対する資料の朗読及び録音
- 八 図書資料等の複写
- 九 図書館職員等に対する研修
- 十 海外の図書館等との交流
- 十一 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(開架閲覧室等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、中央図書館の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法を指定の上、利用者の機材により複製させることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する中央図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

(損害賠償)

第10条 中央図書館において、利用者が図書館資料を紛失し、又は損傷した場合には、別に定めるところにより、その損害を賠償しなければならない。

第3章 多摩図書館

(事業)

第11条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 一 図書館資料の館内利用
- 二 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての利用者に対する情報サービス
- 三 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての都内公立図書館等に対する協力支援
- 四 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 五 視覚障害者に対する資料の朗読及び録音
- 六 図書資料等の複写
- 七 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 八 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第12条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第13条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(開架閲覧室等)

第14条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者は、多摩図書館の対面朗読室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第15条 館長は、図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(損害賠償)

第16条 多摩図書館において、利用者が図書館資料を紛失し、又は損傷した場合には、別に定めるところにより、その損害を賠償しなければならない

(視聴覚資料の館外貸出し)

第17条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続きについては、館長が別に定める。

(視聴覚資料の利用)

第18条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用をさせないことができる。

第4章 補則

(委任)

第19条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。
(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27号)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。
ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する。

別 表(第4条、第12条関係)

開 館 時 間		
中央図書館	月曜日から金曜日まで(1月4日を除く。)	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(略)第3条に規定する休日(略)に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び日曜日(1月4日を除く。)	午前10時から午後5時30分まで
	1月4日	午後1時から午後9時まで。ただし、土曜日、日曜日及び休日に当たるときは、午後1時から午後5時30分まで
多摩図書館	月曜日から金曜日まで(1月4日を除く。)	午前9時30分から午後7時まで。ただし、その日が休日に当たるときは、午前9時30分から午後5時まで
	土曜日及び日曜日(1月4日を除く。)	午前9時30分から午後5時まで
	1月4日	午後1時から午後7時まで。ただし、土曜日、日曜日及び休日に当たるときは、午後1時から午後5時まで
休 館 日		
年 始	1月1日から同月3日まで	
年 末	12月29日から同月31日まで	
設備等の保守点検日	毎月1日以内	
館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たる時は、第二木曜日	
特別整理期間	1年のうち12日以内	

◆ 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク 1		多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)
多摩図書館 シンボルマーク 2		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

◆ ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<http://www.library.metro.tokyo.jp/>

携帯電話からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト

<http://www.library.metro.tokyo.jp/Portals/0/i/>

- 携帯電話からの蔵書検索

<https://catalog.library.metro.tokyo.jp/winj/mobileopac/top.do>

東京都立図書館 Twitter

https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook

<http://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録下さい。

◆ 案 内 図

中央図書館

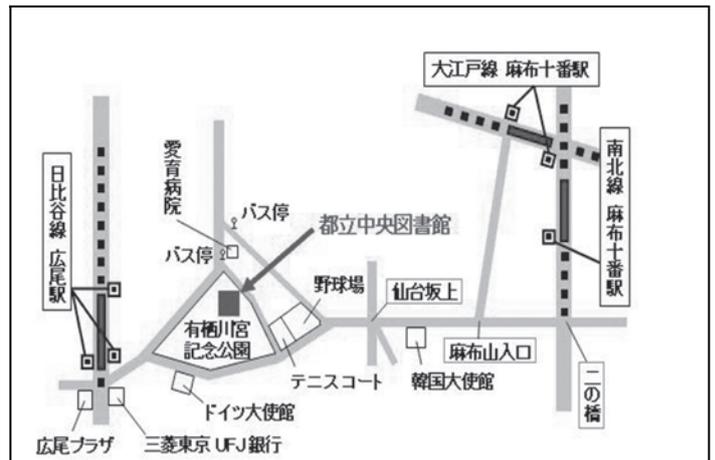
都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、さまざまな情報サービスを行っている。

資料の個人貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前 10 時～午後 9 時
土・日・祝・休日	午前 10 時～午後 5 時 30 分

 ただし、
 - ・特別文庫室 午前 10 時～午後 5 時 30 分
 - ・音声・映像資料室 午後 1 時～午後 5 時 30 分
(土・日・祝・休日は、午前 10 時から開室)
- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第 1 木曜日 (祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第 2 木曜日)
 - ・設備等の保守点検日 毎月 1 回 (不定期)
 - ・特別整理期間 年間 12 日以内
 - ・年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日まで



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布 5-7-13 (有栖川宮記念公園内)
電話 03-3442-8451(代)

- 【交通】
- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩 8 分
 - ・東京メトロ南北線 都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩 20 分
 - ・東京メトロ日比谷線 都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩 20 分
 - ・都バス橋 86 系統 目黒駅～新橋駅 愛育病院前 徒歩 2 分
 - ・港区コミュニティバス (ちいばす) 麻布西ルート 97 愛育病院、98 有栖川宮記念公園 徒歩 2 分

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び 16 ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前 9 時 30 分～午後 7 時
土・日・祝・休日	午前 9 時 30 分～午後 5 時
- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第 1 木曜日 (祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第 2 木曜日)
 - ・設備等の保守点検日 年 7 回 (特定月の第 3 日曜日)
 - ・特別整理期間 年間 12 日以内
 - ・年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日まで



多摩図書館

〒190-8543 立川市錦町 6-3-1 (東京都多摩教育センター内)
電話 042-524-7186 (ダイヤルイン)

- 【交通】
- ・JR 中央線 立川駅 徒歩 20 分
 - ・JR 南武線 西国立駅 徒歩 10 分
 - ・多摩都市モノレール 柴崎体育館 徒歩 15 分

事業概要 平成26年度版

登録番号（26）第16号

主要刊行物指定

平成26年9月12日 発行

編集・発行 東京都立中央図書館
〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号
電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名 山浦印刷株式会社

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。